

Panasonic®

取扱説明書 活用ガイド ブルーレイディスクプレーヤー

品番 DP-UB9000



ULTRA HD™
Blu-ray



本機を使用していただくためのサポート情報は、パナソニックホームページをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/bd/>

ソフトウェアの更新（19 ページ）



当社はお客様に最新技術を楽しんでいただけるよう、本機のソフトウェアを随時更新しています。
ソフトウェア更新のお知らせがあった場合、すぐに更新していただくことをお勧めします。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「**安全上のご注意**」（付属冊子「取扱説明書」）を必ずお読みください。

目次

はじめに

付属品を確認する	3
取り扱いについて	3
再生できるメディアについて	6
各部の働き	8
テレビと接続する	10
アンプと接続する	11
ネットワーク接続をする	17
設定をする	18

再生

ホーム画面について	20
再生する	20
ビエラリンク (HDMI) を使う	25
テレビでインターネットを楽しむ	25
別の機器のコンテンツを楽しむ	26
再生設定をする	28

必要なとき

本機の設定を変える（初期設定）	31
故障かな！？	37
こんな表示が出たら	42
仕様	43
著作権など	48
保証とアフターサービス （よくお読みください）	50
さくいん	51

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを (→ ○○) で示しています。
-  戻る : クリックすると、直前の表示に戻ります。
- 次のページに続く  : 説明が次のページに続きます。クリックして次のページもお読みください。

本機で Ultra HD ブルーレイの HDR 機能を楽しむには Ultra HD ブルーレイを再生したときに、HDR 対応のメッセージが表示された場合はテレビの HDR 設定を確認してください。

- 1) 2015 年以降に発売された当社製 4K/HDR 対応のテレビをお使いの場合、テレビの HDR 設定を有効にしてください。（お使いのテレビによっては設定がない場合があります。詳しくは、テレビの説明書をご覧ください）
- 2) 当社製以外の他社製 4K/HDR 対応のテレビをお使いの場合、テレビの説明書をご覧ください。
- 3) HDR 非対応のテレビの場合、メッセージが表示されますが、HDR 信号を変換した映像を再生します。

付属品を確認する

リモコン(1 個)	N2QAYA000173
リモコン用乾電池(2 個)	単 4 形乾電池
電源コード(1 本)	K2CA2YY00254



- 付属品、別売品の品番は、2018 年 10 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードキャップ*および包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- *付属の電源コードによっては、電源コードキャップが無いものがあります。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

付属品の一部および別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。

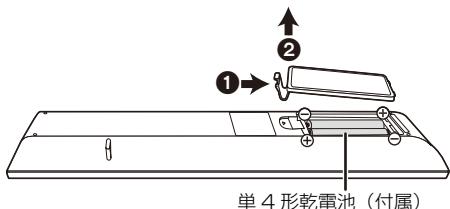
詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト
<https://ec-plus.panasonic.jp/>



リモコンの準備

電池を入れてください。



- ④ ⑤ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- 本機のリモコン受信部 (→ 9) に向けて、まっすぐ操作してください。

取り扱いについて

本機の設置場所

- アンプなどの熱源となる物の上に置かないでください。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しないでください。
- 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置してください。
- 不安定な場所に設置しないでください。
- 重い物を上に載せないでください。
- タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。



つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
 - 急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
 - 湿気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
 - 梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約 2 ~ 3 時間）、電源を切ったまま放置してください。

お手入れ

本体およびリモコン

本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な再生ができなくなることがあります。

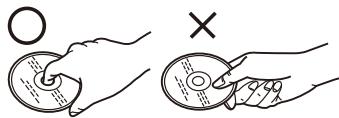
使用環境や使用回数にもありますが、約 1 年に一度、レンズクリーナー（別売 RP-CL720A *）でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

- クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

* ディーガ用として販売されていますが、本機でもご使用になれます。

ディスク

持ち方



信号面には手を触れない

ディスクが汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

信号面（光っている面）
内側から外へ



レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

- ディスククリーナーなどをご使用してください。
- ディスクが汚れている場合、再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えることない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。

● ディスク

- ・ シールやラベルを貼らない。(ディスクに反りが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
- ・ 印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
- ・ 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- ・ 以下のディスクを使わない。
 - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
 - 反っていたり、割れたりひびが入っているディスク
 - ハート型など、特殊な形のディスク



保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湿気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースなどに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読みなくなる場合があります。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。（→ 37「お買い上げ時の設定に戻すには？」）

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。
- 製品を廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。

内蔵無線 LAN 使用上のお願い

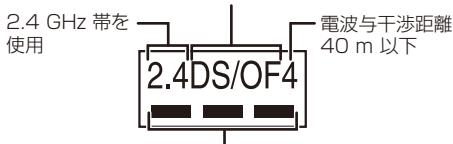
■ 使用周波数帯

内蔵無線 LAN は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、本機背面に記載しています。

変調方式が DSSSとOFDM 方式



2.400 GHz～2.483 GHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

無線 LAN 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

DIGA（ディーガ）・オーディオ使い方・お手入れなどのご相談窓口（→裏表紙）

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解 / 改造する
- 定格銘板および証明ラベルを消す
- 5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

■ 使用制限

使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめ了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線 LAN の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- 日本国内でのみ使用できます。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。

無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID*）が表示されることがあります、接続すると不正アクセスと見なされることがあります。

● 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。

- 次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。

- 電子レンジ
- 他の無線 LAN 機器
- その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器
(Bluetooth® 対応機器、デジタルコードレス電話機、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など)

- 802.11ac または 11n(2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) の無線プロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。また暗号化方式は「AES」にしてください。

● 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

* 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

再生できるメディアについて

メディア	代表的なロゴ	メディアの種類	再生できる内容
BD		Ultra HD ブルーレイ ^{※1※2}	市販またはレンタルソフト
		BD ビデオ	市販またはレンタルソフト
		BD-RE BD-RE DL BD-RE XL	録画番組 ^{※4} 、 JPEG、3D 写真 (MPO)、
		BD-R ^{※3} BD-R DL BD-R XL	録画番組 ^{※4} 、MKV、 JPEG、3D 写真 (MPO)
DVD		DVD ビデオ	市販またはレンタルソフト
		DVD-RAM	録画番組 ^{※4※5※6} 、AVCHD、 JPEG、3D 写真 (MPO)
		DVD-R	録画番組 ^{※4※5※6} 、AVCHD、 MKV、 JPEG、3D 写真 (MPO)、
		DVD-R DL	AAC、AIFF、ALAC、 DSD (DFF, DSF)、FLAC、 MP3、WAV、WMA
		DVD-RW	録画番組 ^{※4※6} 、AVCHD
	—	+R/+RW/+R DL	
CD		音楽 CD	CD-DA 方式に準拠する市販またはレンタルソフト
	—	CD-R CD-RW	MKV、 JPEG、3D 写真 (MPO)、 AAC、AIFF、ALAC、 CD-DA 方式に準拠して記録された音楽や音声、FLAC、 MP3、WAV、WMA
USB	—	USB 機器 (4 TB まで)	AVCHD、AVCHD 3D、 MKV、MP4、MPEG2、 JPEG、3D 写真 (MPO)、 AAC、AIFF、ALAC、 DSD (DFF, DSF)、FLAC、 MP3、WAV、WMA

※1 「Ultra HD ブルーレイを楽しむ」をご参照ください。(→ 23)

※2 特に記載がない場合、本書で BD ビデオと記載している内容は、Ultra HD ブルーレイを含みます。

※3 LTH type も再生できます。

※4 字幕情報が記録されている場合でも、字幕表示はできません。

※5 AVCREC を含みます。

※6 CPRM 方式を含みます。

● メディアやコンテンツについては、「再生できないディスク」(→ 7)、「ファイルフォーマット」(→ 43) もご参照ください。

■ 再生できないディスク

下記のディスクや前ページで紹介していないディスクは再生できません。

- SACD
- ビデオ CD、SVCD
- Photo-CD
- HD DVD
- DVD オーディオ

■ リージョンコード・番号について

本機は下記のリージョンコード（「ALL」を含む）の BD ビデオや DVD ビデオのディスクを再生できます。

例) BD ビデオ DVD ビデオ



- PAL 映像方式の DVD ビデオのディスクは再生できません。

■ ファイナライズ

DVD-R/RW/R DL や +R/+RW/+R DL 、 CD-R/RW を本機で再生するには、記録した機器でファイナライズを行う必要があります。

ファイナライズの方法など、詳しくはお使いの機器の説明書をご覧ください。

■ BD ビデオ

本機は BD ビデオの高音質なサラウンド音声 (Dolby® Digital Plus、Dolby® TrueHD、DTS-HD® High Resolution Audio、DTS-HD® Master Audio) に対応しています。

■ 3D

本機と 3D 対応テレビをハイスピード HDMI ケーブルで接続すると、3D 映像と 3D 写真を再生できます。

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。

無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、

<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、
Cinavia Consumer Information Center, P.O.
Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA ま
ではがきを郵送してください。

■ 音楽 CD

CD-DA 規格に準拠していない CD (コピーコントロール CD など) は、動作および音質の保証はできません。

■ USB 機器

- USB 機器はホーム画面表示中に接続してください。
- すべての USB 機器との接続を保証するわけではありません。
- 本機は USB 機器を充電することはできません。
- 本機は FAT12 、 FAT16 、 FAT32 、 NTFS 、 ext4* 形式でフォーマットされた USB 機器に対応しています。
- 本体前面の USB 端子はハイスピード USB (USB 2.0 準拠) に対応しています。本体背面の USB 端子はスーパースピード USB (USB 3.0 準拠) に対応しています。
- 本体背面の USB 端子は FAT32 、 NTFS 、 ext4 形式でフォーマットされた HDD (ハードディスク) に対応しています。HDD が認識されない場合は、HDD に電源が供給されていない可能性があります。外部から電源を供給してください。
- USB 機器を 2 台同時に使用することはできません。
(→ 38)
- USB 機器に記録された 4K 映像を再生するには、 USB3.0 対応の USB 機器を使用し本体背面の USB 端子に接続してください。



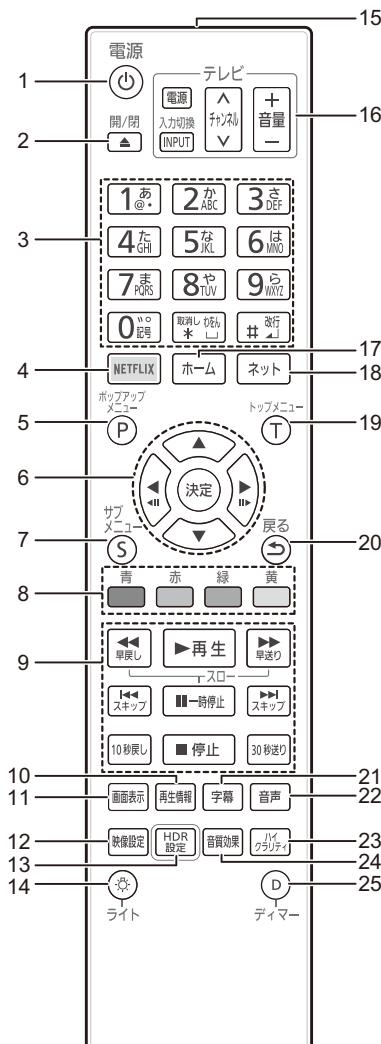
- 使用するメディア、記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作り方により再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。
- ディスク制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。ディスクの説明書もご覧ください。

* USB 接続した HDD のみ

各部の働き

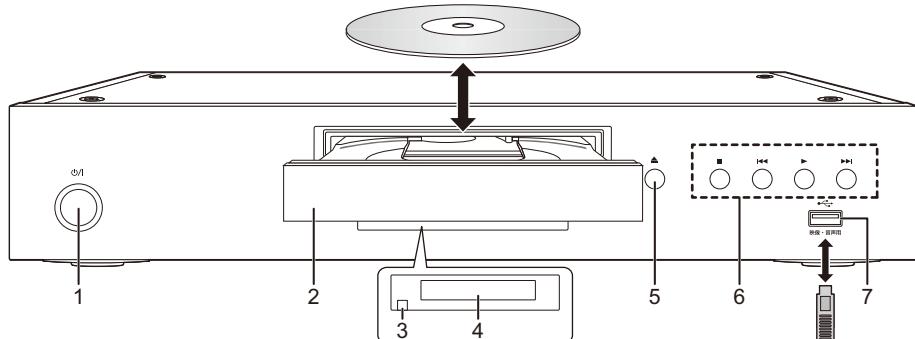
■ リモコン

リモコン操作時に本機以外の当社製機器が反応するときは、リモコンモードを変えてください。(→ 36)



- 1 本機の電源を切 / 入する
- 2 ディスクトレイを開閉する (→ 9)
- 3 タイトル番号などを選ぶ / 数字や文字を入力する
[取消し]：入力した数値などを取り消す
(初期設定の「視聴制限」でパスワード入力時など)
- 4 Netflix 画面を表示する (→ 25)
- 5 ポップアップメニューを表示する (→ 21)
- 6 選択および決定する
- 7 サブメニューを表示する (→ 28)
- 8 カラー ボタン
画面上の指示に応じてさまざまな用途に使用する
- 9 再生時の基本操作をする (→ 20)
- 10 「再生情報」を表示する (→ 22)
- 11 再生状態を確認する (→ 22)
- 12 「映像設定」を表示する (→ 29)
- 13 「HDR 設定」を表示する (→ 21)
- 14 リモコンボタンのライトを点灯する
- 15 リモコン送信部
- 16 テレビ操作部 (→ 18)
本機のリモコンでテレビの操作をすることができます。
- 17 ホーム画面を表示する (→ 20)
- 18 「テレビでネット」のポータルサイト画面を表示する (→ 25)
- 19 トップメニューを表示する (→ 21)
- 20 前の画面に戻る
- 21 「字幕情報」 / 「字幕設定」を表示する (→ 28)
- 22 音声を切り換える (→ 21)
- 23 「ハイクラリティサウンド」設定を切り換える (→ 30)
- 24 「音質効果」を切り換える (→ 30)
- 25 本体表示窓の明るさを切り換える (→ 36)

■ 本体前面



1 電源を切 / 入する [φ/I] (leftrightarrow 18)

[φ : 切 (スタンバイ)]

2 ディスクトレイ

3 リモコン受信部

受信範囲
正面…約 7 m 以内
左右…各約 30°
上下…各約 20°

4 本体表示窓

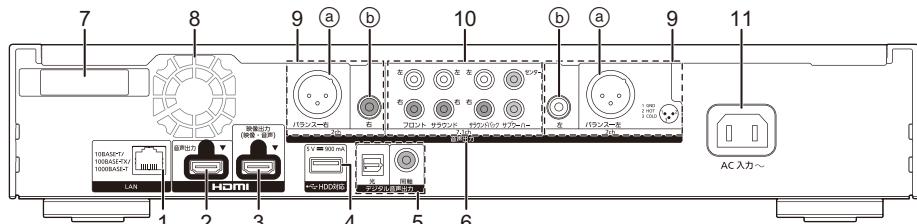
5 ディスクトレイを開閉する

6 再生時の基本操作をする

7 USB 端子 (映像・音声用、5 V DC 500 mA)
ハイスピード USB 2.0 対応

- メディアを正しい向きに挿入してください。
- 当社製機器と USB 接続ケーブルで接続した場合、接続機器側の設定を行ってください。
- ディスクをお使いにならない場合は、ディスクをトレイから取り出しておくことをお勧めします。

■ 本体背面



本製品に表示の記号は以下を示しています。

~ AC (交流)
--- DC (直流)

テレビと接続する

本機とテレビとの接続には、HDMI ケーブル（別売）が必要です。

接続するテレビに合わせて HDMI ケーブルをご準備ください。当社製 HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。

- 4K/60p をお楽しみになりたい場合は、18 Gbps 対応の HDMI ケーブルが必要です。
- 上記以外の場合は、「ハイスピード HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

- 接続時は各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。各機器の説明書もご覧ください。（本機の電源コードは、すべての接続が終わったあと、接続してください）
- 本機はアナログ映像出力端子がありません。HDMI 端子のないテレビでは、ご利用になれません。

節電のために

- 電源を切った状態でも、電力を消費しています。（**→ 43**）長期間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜いておくことをお勧めします。

■ 4K 映像を楽しむ

本機を 4K 対応テレビに接続すると、4K 映像をお楽しみいただけます。

- 4K 対応テレビに接続した場合、「かんたん設置設定」をすると自動的に 4K/60p が設定されます。

（**→ 18, 35**）

- Ultra HD ブルーレイを 4K/HDR で視聴するために、HDCP2.2、4K/60p (4:4:4)、Ultra HD ブルーレイ規格の HDR 信号に対応した機器の HDMI 端子に接続してください。

電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

4K 対応テレビで映像と音声を楽しむ場合



- 電源コードは丸穴部分手前の **A** まで差し込んでください。

設定

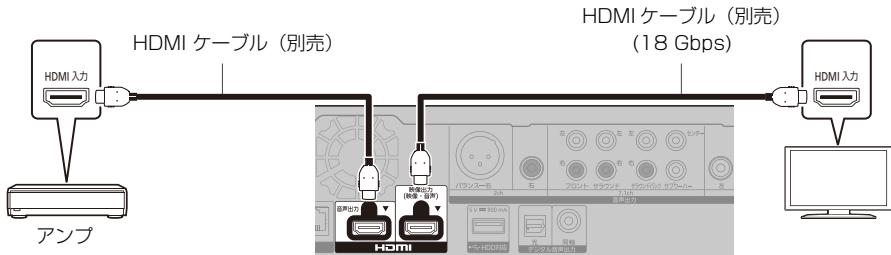
初期設定で以下のように設定してください。（**→ 31**）：

- 「映像出力端子設定」を「オート（映像のみ／映像+音声）」に設定してください。（**→ 31**）
- 「音声出力端子設定」を「音声のみ」に設定してください。（**→ 31**）

アンプと接続する

4K 対応テレビで映像、アンプで音声を楽しむ場合

HDMI 音声出力端子を使用すると、より高音質でお楽しみいただけます。



設定

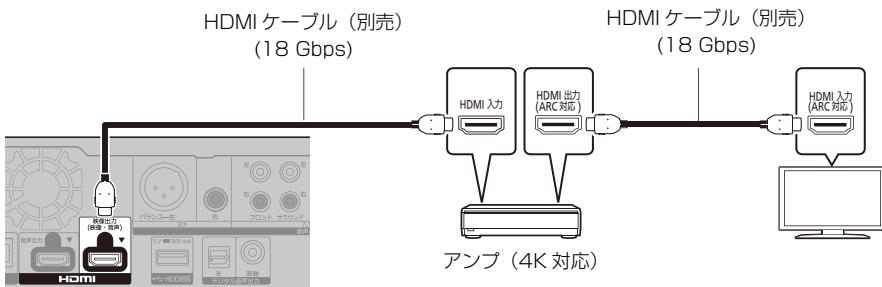
初期設定で以下のように設定してください。([→ 31](#)) :

- 「映像出力端子設定」を「オート（映像のみ／映像+音声）」に設定してください。[\(→ 31\)](#)
- 「音声出力端子設定」を「音声のみ」に設定してください。[\(→ 31\)](#)
- テレビで音声を楽しむ場合：
「映像出力端子設定」を「映像+音声」に設定してください。[\(→ 31\)](#)



- HDMI 音声出力端子に接続した機器では、4K 出力機能やピエラリンク (HDMI) 機能 [\(→ 25\)](#) は働きません。

4K 対応テレビで映像、4K 対応アンプで音声を楽しむ場合



設定

初期設定で以下のように設定してください。[\(→ 31\)](#) :

- 「映像出力端子設定」を「オート（映像のみ／映像+音声）」に設定してください。[\(→ 31\)](#)
- 「音声出力端子設定」を「音声のみ」に設定してください。[\(→ 31\)](#)



- ARCについて：

ARC 非対応のテレビまたはアンプ (HDMI 出力端子に「ARC 対応」の表示なし) を使用する場合は、テレビの音声をアンプで楽しむために、さらにアンプとテレビを光デジタルケーブルで接続する必要があります。

デジタル音声出力 / アナログ音声出力端子にアンプを接続し、音声を楽しむ場合

設定

初期設定で以下のように設定してください。(→ 31) :

- ・「映像出力端子設定」を「オート（映像のみ／映像+音声）」に設定してください。(→ 31)

- ・「音声出力端子設定」を「音声のみ」に設定してください。(→ 31)

・光・同軸端子や2ch音声出力端子に接続したアンプで音声を楽しむ場合：

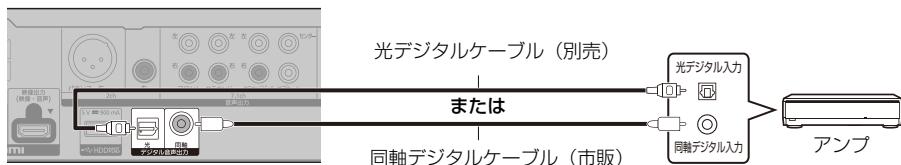
「詳細設定」で「音声出力」を「切」に設定してください。(→ 32)

・7.1ch音声出力端子に接続したアンプで音声を楽しむ場合：

「アナログマルチチャンネル出力設定」を「入」に設定してください。(→ 33)

光・同軸（デジタル音声出力）

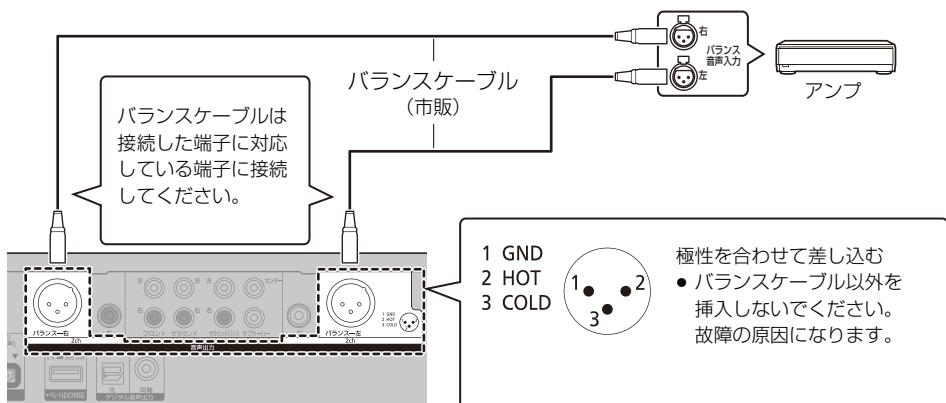
（音声はHDMI出力端子から出力されません）



2ch音声出力（アナログ音声出力）

バランス端子

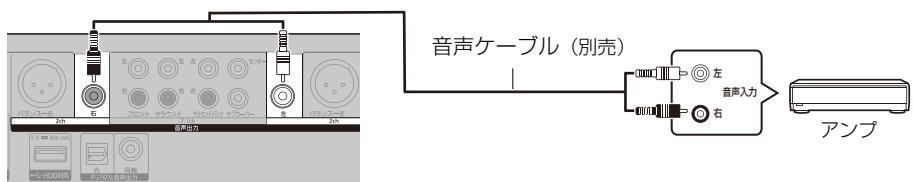
（音声はHDMI出力端子から出力されません）



音声出力端子

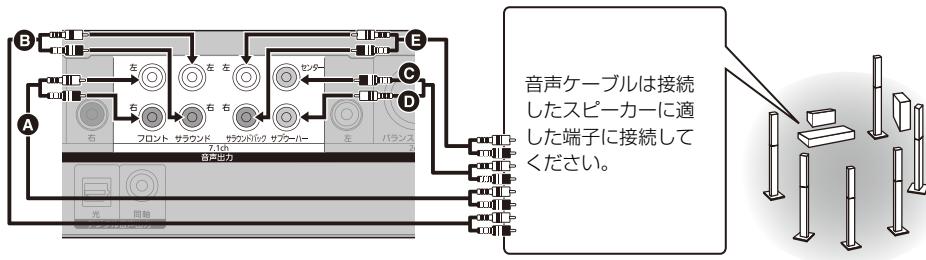
同じ色の端子に接続してください。

（音声はHDMI出力端子から出力されません）



7.1ch 音声出力（アナログ音声出力）

お使いになる環境に応じて、スピーカーの配置やサイズを調整してください。 (→ 33)
 (音声は HDMI 出力端子から出力されません)



ケーブルの接続

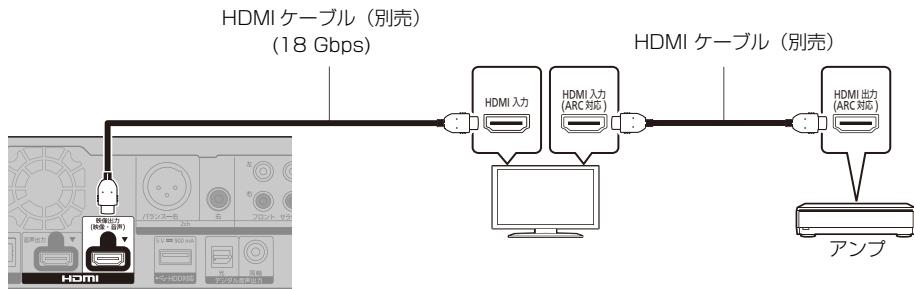
- Ⓐ フロントスピーカー (L/R)
- Ⓑ サラウンドスピーカー (L/R)
- Ⓒ センタースピーカー

- Ⓓ サブウーファー
- Ⓔ サラウンドバックスピーカー (L/R)
(7.1ch 音声出力のみ)

4K 対応テレビにアンプを接続する場合

本機を 3D または 4K 対応テレビに接続する場合、3D または 4K 映像を再生することができます。

- 音声は最大で 5.1ch になります。
- テレビとアンプを HDMI ケーブルで接続する場合は、テレビとアンプをつなぐ端子の双方が ARC に対応している必要があります。 (→ 11 「ARC について」)

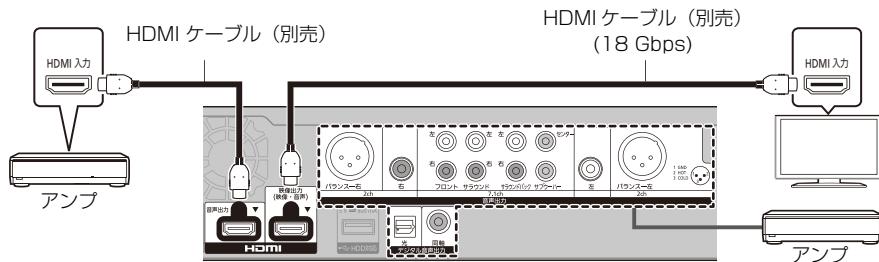


設定

初期設定で以下のように設定してください。 (→ 31) :

- 「映像出力端子設定」を「オート（映像のみ／映像+音声）」に設定してください。 (→ 31)
- 「音声出力端子設定」を「音声のみ」に設定してください。 (→ 31)

HDMI 音声出力端子にアンプ、デジタル音声出力 / アナログ音声出力端子にアンプを接続し、4K 対応テレビで映像を楽しむ場合



設定

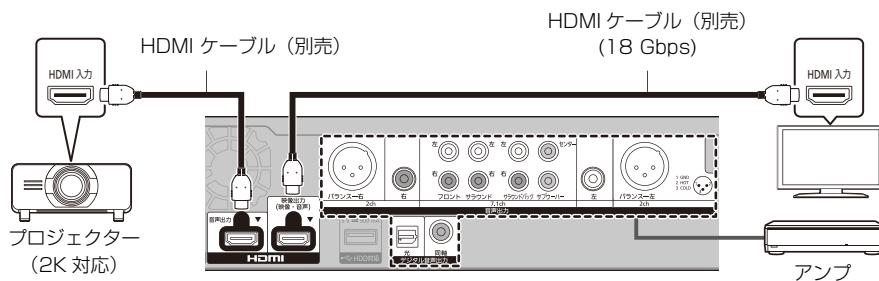
初期設定で以下のように設定してください。(→ 31) :

- 「映像出力端子設定」を「オート（映像のみ/映像+音声）」に設定してください。(→ 31)
- 「音声出力端子設定」を「音声のみ」に設定してください。(→ 31)
- 光・同軸端子や 2ch 音声出力端子に接続したアンプで音声を楽しむ場合：
「詳細設定」で「音声出力」を「切」に設定してください。(→ 32)
- 7.1ch 音声出力端子に接続したアンプで音声を楽しむ場合：
「アナログマルチチャンネル出力設定」を「入」に設定してください。(→ 33)
- テレビで音声を楽しむ場合：
「映像出力端子設定」を「映像+音声」に設定してください。(→ 31)



- HDMI 音声出力端子に接続しているアンプと、デジタル音声出力 / アナログ音声出力端子に接続しているアンプの両方から同時に音声を出力することはできません。

HDMI 音声出力端子に 2K 対応プロジェクター、デジタル音声出力 / アナログ音声出力端子にアンプを接続し、4K 対応テレビで映像を楽しむ場合

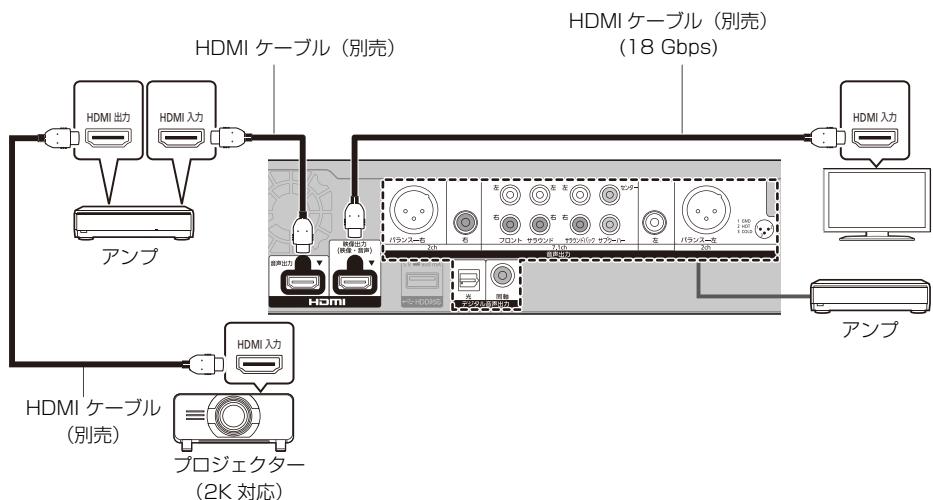


設定

初期設定で以下のように設定してください。(→ 31) :

- 「映像出力端子設定」を「オート（映像のみ／映像+音声）」に設定してください。(→ 31)
- 「音声出力端子設定」を「音声のみ」に設定してください。(→ 31)
- 光・同軸端子や 2ch 音声出力端子に接続したアンプで音声を楽しむ場合：
「詳細設定」で「音声出力」を「切」に設定してください。(→ 32)
- 7.1ch 音声出力端子に接続したアンプで音声を楽しむ場合：
「アナログマルチチャンネル出力設定」を「入」に設定してください。(→ 33)
- テレビで音声を楽しむ場合：
「映像出力端子設定」を「映像+音声」に設定してください。(→ 31)
「詳細設定」で「音声出力」を「入」に設定してください。(→ 32)
- プロジェクターで映像を楽しむ場合：
「音声出力端子設定」を「映像+音声」に設定してください。(→ 31)
(「映像+音声」に設定した場合、HDMI 出力端子から 3D、4K、HDR 映像の出力はできません)

HDMI 音声出力端子にアンプと 2K 対応プロジェクター、デジタル音声出力 / アナログ音声出力端子にアンプを接続し、4K 対応テレビで映像を楽しむ場合



設定

初期設定で以下のように設定してください。(→ 31) :

- 「映像出力端子設定」を「オート（映像のみ／映像+音声）」に設定してください。(→ 31)

- 「音声出力端子設定」を「音声のみ」に設定してください。(→ 31)

- 光・同軸端子や 2ch 音声出力端子に接続したアンプで音声を楽しむ場合：

「詳細設定」で「音声出力」を「切」に設定してください。(→ 32)

- 7.1ch 音声出力端子に接続したアンプで音声を楽しむ場合：

「アナログマルチチャンネル出力設定」を「入」に設定してください。(→ 33)

- テレビで音声を楽しむ場合：

「映像出力端子設定」を「映像+音声」に設定してください。(→ 31)

- プロジェクターで映像を楽しむ場合：

「音声出力端子設定」を「映像+音声」に設定してください。(→ 31)

(「映像+音声」に設定した場合、HDMI 出力端子から 3D、4K、HDR 映像の出力はできません)



- HDMI 音声出力端子に接続しているアンプと、デジタル音声出力 / アナログ音声出力端子に接続しているアンプの両方から同時に音声を出力することはできません。

ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。

- ・ソフトウェアを更新する (→ 19)
- ・BD-Live/ インターネットサービスを楽しむ (→ 23, 25)
- ・別の機器のコンテンツを楽しむ（ホームネットワーク）(→ 26)
- ・本機は無線プロードバンドルーター（アクセスポイント）を使わずに、無線 LAN 機器に直接接続ができるダイレクトアクセスに対応しています。ダイレクトアクセスで接続している間は、インターネットへの接続はできません。(→ 27)

さらに詳しい接続のしかたについては、接続した機器の説明書をご覧ください。

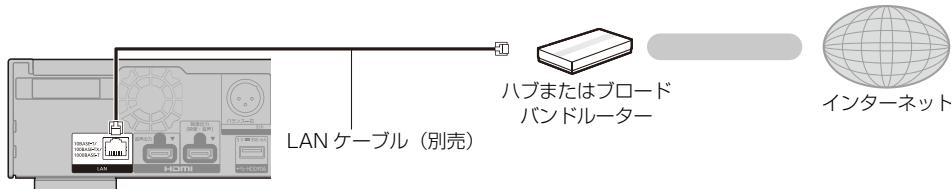
無線 LAN を使う

本機には内蔵無線 LAN があり、無線プロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続することができます。



- ・動作確認済みの無線プロードバンドルーター（アクセスポイント）については、当社ホームページでご確認ください。
<https://panasonic.jp/support/bd/>
- ・無線 LAN アンテナに HDMI ケーブルなどのコードが被らないようにしてください。電波が届きにくくなる場合があります。
- ・USB-HDD をご使用の場合は、無線 LAN アンテナからできるだけ離して設置してください。電波干渉によって通信速度が低下したり、通信が不安定になることがあります。
- ・本機は公衆無線 LAN への接続には対応しておりません。
- ・無線 LAN のご注意については、「内蔵無線 LAN 使用上のお願い」(→ 5) をご参照ください。

LAN ケーブルを使う



- ・周辺機器に接続するときは、カテゴリー 5e (CAT5e) 以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- ・LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。
- ・LAN ケーブルはストレートとクロスのどちらを使用しても問題ありません。
- ・有線 LAN で公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備（有線 LAN ルーター、回線端末装置）に接続してください。

設定をする

下記項目の設定は、「初期設定」でいつでも設定することができます。(→ 34、35)

かんたん設置設定をする

お買い上げ後初めて電源を入れると、基本的な設定を行う画面が表示されます。

準備

テレビの電源を入れ、本機を接続した入力に切り換える
(例:HDMI1など)

電源

1 Ⓛ を押す

設定画面が表示されます。

2 画面の指示に従い、設定を行う

(例:「クリックスタート」)

「かんたん設置設定」終了後、「かんたんネットワーク設定」を行うことができます。

■ 4K/60p 対応テレビと接続時

4K/60p 対応テレビと接続している場合、
4K/60p 映像の出力方法を設定できます。

4K/60p 出力

お使いの4K対応テレビとの接続確認を行います。
接続確認中に映像が乱れて見えなくなることがあります。
その場合は、本機の操作を行わないでください。
最長で約30秒後に映像が正しく表示されます。

開始



画面の指示に従って、設定してください。



- 2K 対応テレビを接続して「かんたん設置設定」の設定を完了したあと、4K/60p 対応テレビにつなぎかえる場合は「4K/60p 出力」を「4K/60p (4:4:4)」または「4K/60p (4:2:0)」に設定してください。(→ 31)

■ 「自動電源オフ」の設定

「入」に設定した場合、再生をしていない状態で、
約20分操作を行わないと、節電のため自動的に電源
が切れます。

■ リモコンのテレビ操作部設定

設定すると、リモコンのテレビ操作部でテレビの操作
ができます。

リモコンのテレビ操作部設定

リモコンを本機に向けて、画面が切り換わるまで、サブメニュー
ボタンと、お使いのテレビメーカーの数字または記号ボタンを
同時に押し続けてください。

パナソニック	1	三洋	2	シャープ	3
ソニー	4	東芝	5	パイオニア	6
ビクター	7	日立	8	富士通ゼネラル	9
フナイ	0	三菱	*	LG	#

数字・記号ボタン

画面の指示に従って、設定してください。



- 「リモコンのテレビ操作部設定」を行っても正しく動作しない場合、以下の操作で設定してみてください。

リモコンのテレビ操作部の【電源】を押しながら、[0]～[9]を使って2桁のメーカー番号(→ 45)を入力する

かんたんネットワーク設定をする

「かんたん設置設定」終了後、「かんたんネットワーク設定」を行うことができます。

「有線」または「無線」を選び、決定 を押す

かんたんネットワーク設定

接続方式を選択してください。

有線
無線



■ 無線接続について

無線接続設定を始める前に

- ネットワーク名 (SSID^{※1}) を取得してください。
- 無線接続が暗号化されている場合は、暗号化キーを確認してください。

画面の指示に従って、設定してください。

プッシュボタン方式:

例)

無線プロードバンドルーター（アクセスポイント）がプッシュボタン方式に対応している場合は、リンクボタンを押すと、簡単に設定することができます。



プッシュボタン方式とは、無線 LAN 機器との接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お持ちの無線プロードバンドルーター（アクセスポイント）が対応しているかどうかは、ルーターの説明書をご覧ください。

- ① リモコンの【赤】を押す
- ② 無線プロードバンドルーター（アクセスポイント）のリンクボタンを、対応ランプが点滅するまで押す
- ③ 「開始」を選ぶ

無線ネットワーク検索：

- 有効な無線ネットワークがテレビ画面に表示されます。
ネットワーク名を選んでください。
- ネットワーク名が表示されない場合、リモコンの【青】を押して再度検索してください。
- リモコンの【青】を押して、強い電波のネットワーク名が表示されない場合は、「手動設定」で手動で入力してください。（→ 34）
- 無線ネットワークが暗号化されている場合は、暗号化キー入力画面が表示されます。
無線ネットワークの暗号化キーを入力してください。



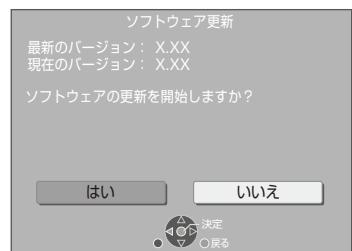
- ハブやルーターについてはそれぞれの説明書をご覧ください。
- 「かんたん設置設定」（→ 35）や「かんたんネットワーク設定」（→ 34）を選んで設定をやり直すことができます。
- 「ネットワーク通信設定」（→ 34）で、それぞれの項目を設定し直すこともできます。
- ホームネットワーク機能（→ 26）をご利用になるには、802.11ac または 11n（2.4 GHz/5 GHz 同時使用可）をお使いのうえ、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線プロードバンドルーター（アクセスポイント）の説明書をご覧ください。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に、利用する権限のない無線ネットワーク名（SSID^{*1}）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- 本機とネットワーク設定を行うと、無線プロードバンドルーター（アクセスポイント）の暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線プロードバンドルーター（アクセスポイント）の設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
- 暗号化せずにネットワーク接続すると、第三者に不正に侵入されて通信内容を盗み見られたり、お客様の個人情報や機密情報などのデータが漏えいするおそれがありますので、十分お気をつけください。

* 1 SSID：無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

ソフトウェアの更新

本機をネットワーク接続している場合、本機の電源を入れたときに自動的にソフトウェアのバージョンを確認します。

最新のソフトウェアになっていない場合、下記のメッセージが表示されます。

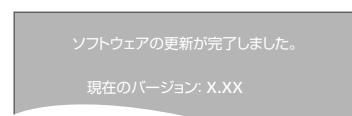


*2

「はい」を選択するとソフトウェアのダウンロードを開始します。ダウンロード後、ソフトウェアの更新が始まると黒画面になります。

本機はソフトウェアの更新が完了するまで操作できません。また、故障の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。

更新が完了すると、本機は自動的に再起動し、下記の画面が表示されます。



*2



- 下記のホームページから最新のソフトウェアをパソコンにダウンロードすることもできます。USB 機器にコピーしたあと、本機に接続することでソフトウェアを更新することができます。
<https://panasonic.jp/support/bd/>
- ソフトウェアの更新は「ソフトウェア更新」を選択することでいつでも実行できます。（→ 36）
- ソフトウェアのバージョンを確認するには「ソフトバージョン情報」を参照してください。（→ 36）
- 更新は数分かかります。
- 本機をネットワークに接続して更新する場合は、お使いの環境により、さらに時間がかかる場合があります。

* 2 「X.XX」はファームウェアのバージョンの数値を表しています。

ホーム画面について

ホーム画面から本機の主な機能を操作することができます。

準備

テレビの電源を入れ、本機を接続した入力に切り換える

電源

1 [電源] を押して本機の電源を入れる

2 [決定] や [◀][▶] で項目を選ぶ

- 必要に応じて、[決定] や [▲][▼] で項目を選んでください。



動画 / 音楽 / 写真

ディスク	メディアを再生します。 (→ 右記)
USB 機器	<ul style="list-style-type: none"> 複数のコンテンツが記録されている場合は、コンテンツの種類やタイトルを選択してください。 再生できるメディアについては (→ 6)

ホームネットワーク

お部屋ジャンプリング	(→ 26)
ミラーリング	(→ 26)
メディアレンダラー	(→ 27)

テレビでネット

「テレビでネット」のポータルサイト画面を表示します。 (→ 25)

設定

初期設定	本機の各種設定をします。 (→ 31)
壁紙設定	ホーム画面の壁紙を変更します。
BD ビデオデータ消去	USB 機器内のデータ (BD ビデオデータのみ) を消去します。 (→ 23)

ホーム画面を表示するには

[ホーム] を押す



- メディアによって、表示される項目は異なります。

再生する

1 メディアを入れる

メディアによっては再生が始まります。

2 項目を選び、[決定] を押す

必要に応じて、この手順を繰り返してください。



- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [■ 停止] を押して停止させてください。
- 記録した機器でファイナライズをしていないディスクは再生できません。 (→ 7)
- 以下の条件を満たしている場合、写真的画質にかかわらず 4K 画質で写真を再生します。
 - 本機を 4K 対応テレビに接続している
 - 「出力解像度」を「オート」または「4K」に設定している (→ 31)
- 3D 再生時は、4K で出力されません。
- パソコンでメディアにドラッグ & ドロップやコピー & ペーストした AVCHD や MPEG2 は再生することができません。
- Dolby Atmos®やDTS:X®に対応したBDビデオを楽しむには (→ 33)
- ライブやコンサートの音源を収録したアルバムなど（曲間をつなげて収録している音楽ファイル）※の再生画面表示中に黄ボタンを押すと、選択中のフォルダまたはトラックの先頭から曲間を空けずに連続で再生することができます。（ギャップレス再生） (→ 40)

* AIFF、DSD、FLAC、WAV

再生中の操作

メディアやコンテンツによっては機能しないものもあります。

停止

[停止] を押す

続き再生メモリー機能

停止位置を記憶します。

[▶ 再生] を押すと停止位置から再生が始まります。

- BD ビデオ、DVD ビデオ、録画番組： 電源を切っても停止位置を記憶します。電源「切」状態やホーム画面表示状態でリモコンの [▶ 再生] を押すと停止位置から再生が始まります。
- 記録された停止位置はメディアを取り出したり、 [■ 停止] を再度押すと、解除されます。
- BD-J が含まれる BD ビデオや BD/DVD ビデオのメニュー画面では、続き再生メモリー機能が働きません。 詳細については下記をご参照ください。
<https://panasonic.jp/support/bd/>

一時停止

II一時停止 を押す

- もう一度押す、または [▶再生] を押すと、再生を再開します。

早送り・早戻し / スロー再生

早送り・早戻し

再生中に または を押す

- Ultra HD ブルーレイ、録画番組 (4K 放送)、MKV、MP4、MPEG2：音声は出ません。

スロー再生

一時停止中に または を押す

- BD ビデオ、AVCHD：[▶▶早送り] のみ働きます。
- MKV、MP4、MPEG2：無効

押すごとに、または押したままにすると、速度が速くなります。(5 段階)
 • MP3/ その他の音楽：早送り・早戻しは 1 段階の速度のみ働きます。音声は出ません。
 • [▶再生] を押すと、通常再生に戻ります。

スキップ

再生中または一時停止中に を押す

- タイトル、チャプター、またはトラックを飛び越します。

30秒先へ飛び越す / 10秒前へ戻す

または を押す

- MKV：無効

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に または を押す

- 押すごとに 1 コマずつ送り（戻し）します。
- 押したままにすると連続してコマ送り（戻し）します。
- [▶再生] を押すと、通常再生に戻ります。
- BD ビデオ、AVCHD：コマ送りのみ働きます。
- MKV、MP4、MPEG2：無効

音声を切り換える

音声 を押す

- 音声チャンネルや音声言語などを変更することができます。

リピート

繰り返し再生ができます。（→ 28）

メニューを表示する

- [ポップアップメニュー] または [トップメニュー] を押す
- 項目を選び、[決定] を押してください。

画面の明るさを調整する

HDR ビデオ再生中に [HDR 設定] を押す

HDR 対応のテレビと接続し、HDR（ハイダイナミックレンジ）ビデオ出力時に画面全体の明るさ調整メニューを表示します。[◀][▶] で設定を切り換えてください。

- 「本機で Ultra HD ブルーレイの HDR 機能を楽しむには（→ 2）および「HDR 調整」（→ 29）を参照してください。

画面の明るさ調整を終了するには
 [戻る] を押す

音楽 CD のダイレクト再生

リモコンの数字ボタンで音楽 CD の選曲ができます。

曲一覧を表示中に ~ を押して、曲番号を 2 行で入力する

例) 5 : [0]→[5]、15 : [1]→[5]

再生状態を確認する

再生中に【再生情報】を押す

映像コンテンツ*の再生状態を確認できます。

- Ultra HD ブルーレイなどメタデータが付与されている HDR 素材を出力時は、【再生情報】をもう一度押すと、輝度情報 (HDR10 メタデータ) を表示します。
 - 再生中のメディア内に HDR メタデータがない場合は、「–」が表示されます。
 - Dolby Vision 出力時など HDMI 映像出力端子から HDR メタデータが表示されない場合は、「–」が表示されます。

	映像コンテンツ*の映像情報
	映像コンテンツ*の音声情報
	HDMI(映像)出力情報
	HDMI(音声)出力情報

再生情報を終了するには

【戻る】を押す

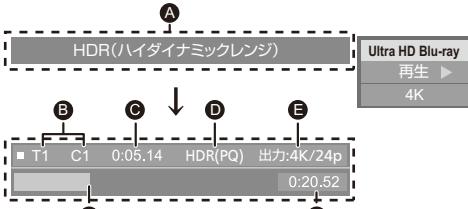
- * BD-Video、DVD-Video、MKV、MP4、MPEG2（お部屋ジャンプリンクを除く）

再生中に【画面表示】を押す

現在の再生状態の情報を表示します。押すごとに切り換わります。

- メディアやコンテンツによっては、画面の表示が異なったり、メニュー画面などが表示されない場合があります。

例) Ultra HD ブルーレイ



- A: HDR (ハイダイナミックレンジ) の映像を再生時に表示
– 「HDR (ハイダイナミックレンジ)」:
HDR の映像信号をそのまま出力時
– 「HDR (ハイダイナミックレンジ: HLG/PQ 変換)」:
HLG 方式の HDR 映像を PQ 方式へ変換時
– 「ダイナミックレンジ変換出力」:
通常のダイナミックレンジの映像信号へ変換時
- B: T: タイトル、P: プログラム、C: チャプター、PL: プレイリスト
- C: 経過時間
- D: HDR (ハイダイナミックレンジ) ビデオの方式
- E: 出力解像度 / フレームレート
- F: 現在の再生位置
- G: 総再生時間

例) JPEG



- 音楽再生中は、経過時間やファイル名およびその他の関連情報が本体表示窓に表示されます。

例) MP3



Ultra HD ブルーレイを楽しむ

本機では、Ultra HD ブルーレイディスクの再生をお楽しみいただけます。

準備

- 4K/HDR で視聴するために、18 Gbps 対応の HDMI ケーブルで HDCP2.2^{*1}、4K/60p (4:4:4)、Ultra HD ブルーレイ規格の HDR 信号に対応する機器（テレビなど）や HDMI 端子に接続してください。（→ 10）

著作権保護のために、ディスクによっては本機をインターネットに接続していないと再生できない場合があります。



- HDCP2.2^{*1}に対応していない機器や端子に接続した場合、2K 解像度で、HDR 信号をダイナミックレンジ変換^{*2}して出力します。また、ディスクによっては正しく再生できない場合があります。
- 4K/60p (4:2:0/8bit) まで対応する機器や端子に接続した場合、60p 素材の再生は HDR 信号をダイナミックレンジ変換^{*2}して出力します。
- 4K に対応していない機器や端子に接続した場合、2K 解像度で、HDR 信号をダイナミックレンジ変換^{*2}して出力します。
- HDR に対応していない機器や端子に接続した場合、HDR 信号をダイナミックレンジ変換^{*2}して出力します。また、ディスクによっては 2K 解像度での出力、または正しく再生ができない場合があります。

※ 1 HDCP とは不正コピー防止技術の 1 つです。2.2 はバージョンを表します。

※ 2 ダイナミックレンジ変換とは、HDR 映像信号を、HDR 入力に対応していないテレビに適した映像信号に変換する機能です。

マスター グレードビデオコーディング対応のディスクを楽しむ

スタジオマスターと同等の高階調映像をお楽しみいただけます。

- 「MASTER GRADE VIDEO CODING」（→ 32）を「入」に設定してください。
- 再生すると、自動的にマスター グレードビデオコーディングとして再生されます。

【画面表示】を押すと、以下の表示が出ます。



- 早送り 1 段階の速度の場合、音声は出力されません。

3D 映像 / 写真を楽しむ

準備

本機と 3D 対応テレビを接続する（→ 10）

- テレビ側で必要な準備を行ってください。
- 表示される画面の指示に従って、再生を行ってください。
- 3D 設定（→ 30、34）



- 接続している機器によっては、再生中の映像が解像度などの変化のため、2D 映像に切り替わることがあります。接続している機器側の 3D 設定をご確認ください。
- 3D 映像は、「出力解像度」（→ 31）や「24p 出力」（→ 31）の設定どおりに出力されない場合があります。
- 「写真」から 3D 写真を再生する場合は、「3D」から選んでください。（「2D」からは 2D 再生になります）「2D」および「3D」が表示されない場合は、再生一覧の表示を切り換えるためにリモコンの【青】を押してください。

BD-Live を楽しむ

BD-Live 対応ディスクでは、インターネットに接続してさまざまな機能を楽しむことができます。

BD-Live 機能を使う場合、USB 機器の接続が必要です。

1 ネットワーク接続と設定をする

（→ 17、18）

2 1 GB 以上の残量がある USB 機器を接続する

- USB 機器はローカルストレージとして利用します。

3 ディスクを入れる

■ USB 機器内の BD ビデオデータの消去

ホーム画面で「BD ビデオデータ消去」（→ 20）を選び、【決定】を押す。



- お楽しみいただける機能や再生方法などはディスクによって決められており、さまざまです。ディスクに添付の説明書やホームページをご覧いただきお楽しみください。
- ディスクによっては、「BD-Live インターネット接続」の設定を変更する必要があります。（→ 35）

スライドショーを見る

写真のスライドショー再生と再生時の設定を行うことができます。

1 メディアを入れる

2 「写真を見る」を選ぶ

3 項目を選び、 を押す

下記の項目が設定できます。

スライド ショー開始	スライドショーを開始します。 一定の時間間隔で 1 枚ずつ写真を表示します。
表示間隔	表示間隔を変更します。
表示効果	写真切り換え時の効果を選択します。
リピート再生	スライドショーの繰り返し再生を設定します。
BGM	BGM を再生するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> USB 機器の JPEG スライドショー再生中に、USB 機器の FLAC や MP3 などを BGM として再生できます。
BGM フォルダ選択	BGM 再生するフォルダを選択します。
BGM シャッフル	再生中の BGM を順不同に再生するかどうかを設定します。



- “” の表示になっている写真は、本機では再生できません。
- BGM として AAC や ALAC を再生できません。

ビエラリンク (HDMI) を使う

ビエラリンク (HDMI) とは

本機と HDMI ケーブル（別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン1つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの説明書をご覧ください。

- すべての操作ができるものではありません。
- ビエラリンク (HDMI) に対応するためには、HDMI ケーブルを HDMI 映像出力端子に接続してください。（→ 10）

入力自動切換え / 電源オン連動

下記の操作を行うと、テレビは自動的に入力を切り替え、プレーヤーの画面を表示します。

本機が電源「入」の状態で、テレビが電源「切」のとき、テレビは自動的に電源「入」になります。

- 本機で再生を開始したとき
- ホーム画面や初期設定のようなメニュー画面が表示される操作を行ったとき

電源オフ連動

リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

- ビエラと本機の「ECOスタンバイ」が「入」のとき、本機の待機時消費電力を少なくすることができます。（→ 35）

テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

ビエラリンク (HDMI) 対応のテレビ（ビエラ）とビエラリンク (HDMI) 対応のアンプを接続している場合

- ① 音楽を再生中に、[サブメニュー] を押す
- ② 「TV のみ電源 OFF」を選ぶ

テレビのリモコンで本機を操作

ビエラリンク (HDMI) 対応のテレビ（ビエラ）と接続している場合のみ

テレビのリモコンで、本機を操作することができます。詳しい操作については、テレビ（ビエラ）の説明書をご覧ください。



- 「ビエラリンク制御」を「切」に設定している場合は、「入」に変更してください。（→ 35）
(お買い上げ時の設定は「入」です)
- お使いになれるボタンや機能はテレビにより異なります。詳しくはテレビの説明書をご覧ください。
- テレビのリモコンの対応していないボタンを押すと、本機の操作が中断されることがあります。
- ビエラリンク (HDMI) は、HDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンク (HDMI) に対応した他社製品については、その製品の説明書をご確認ください。

テレビでインターネットを楽しむ

本機ではインターネットを利用して Netflix*や動画共有サイトなどのサービスを楽しむことができます。

準備

- ネットワーク接続と設定をする（→ 17、18）

1 [ネット] を押す

「テレビでネット」のポータルサイト画面が表示されます。

- 本機の電源が切れている場合でも、[NETFLIX] を押すと本機を起動し、Netflix 画面を表示します。

2 項目を選び、[決定] を押す

- 操作方法は画面の指示に従ってください。

「テレビでネット」を終了するには

[ホーム] を押す



- 「テレビでネット」のポータルサイト画面に表示されないサービスは利用できません。
- ソフトウェア更新のお知らせが画面上に表示された場合は、ソフトウェアを更新してください。（→ 19）
更新を行わない場合、「テレビでネット」を正しくご利用できない場合があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

* 映像コンテンツがインターネットを通じて利用できるサービスです。サービスをご利用になるには、Netflix 社との契約が必要です。

インターネットの閲覧制限について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくない動画サイトなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。

お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をお勧めします。

制限機能を使用する場合は、「テレビでネット視聴制限」を「入」に設定してください。（→ 35）

- 「テレビでネット」を利用するには、暗証番号の入力が必要になります。

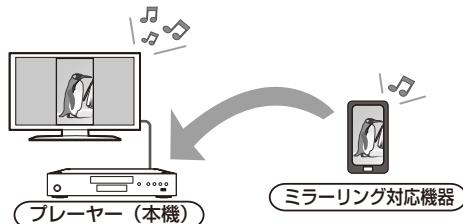
別の機器のコンテンツを楽しむ

別の機器の画面をテレビで再生する（ミラーリング）

スマートフォンなどのミラーリング対応機器で再生しているコンテンツをテレビの大画面で楽しむことができます。

- ミラーリング機能とAndroid™バージョン4.2以上に対応した機器が必要です。

お使いのスマートフォンなどがミラーリングに対応しているかどうかは、スマートフォンなどをお買い上げになった販売店にお問い合わせください。



準備

- ネットワーク接続と設定をする（→ 17、18）

1 [ホーム] を押す

2 「ホームネットワーク」を選ぶ

3 「ミラーリング」を選ぶ

4 ミラーリング対応機器を操作する

- ミラーリング対応機器側で、ミラーリングを有効にし、接続する機器として本機（DP-UB9000）を選んでください。
接続機器の設定や操作方法の詳細については、各機器の説明書をご覧ください。

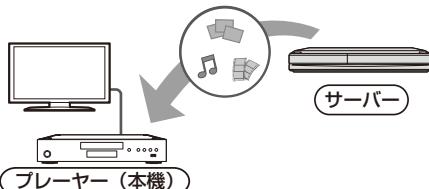
ミラーリングを終了するには

[ホーム] を押す

ディーガなどのコンテンツを再生する（お部屋ジャンプリンク）

ネットワーク接続された機器（ディーガやDLNA対応機器など）のコンテンツを楽しむことができます。

- 再生可能ファイルフォーマットについては（→ 44）



当社製ディーガやDLNA対応機器などに保存された映像や写真などを、本機から操作して再生することができます。

- コンテンツが記録された機器をサーバーといいます。
- 接続する機器をネットワーク接続する必要があります。
- お部屋ジャンプリンク対応機器などの情報は当社ホームページをご覧ください。
https://panasonic.jp/support/r_jump/
(2018年10月現在)

準備

- ネットワーク接続と設定をする（→ 17、18）

- 接続機器のホームネットワーク設定をする

- 本機と接続した機器側で、本機をアクセスできるようにしてください。
- 本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順1～4の操作を行ってください。
- ディーガなど接続機器の設定や操作方法の詳細については、各機器の説明書をご覧ください。

1 [ホーム] を押す

2 「ホームネットワーク」を選ぶ

3 「お部屋ジャンプリンク」を選ぶ

- リモコンの【赤】を押すと、一覧を更新することができます。
- リモコンの【青】を押すと、選択している機器をリストから削除することができます。
- リモコンの【緑】を押すと、ダイレクトアクセスを使った接続へ切り換えることができます。

4 ディーガなどを選び、[決定] を押す

5 項目を選び、[決定] を押す

- コンテンツによっては[サブメニュー]を押すと便利な機能をお使いいただけます。

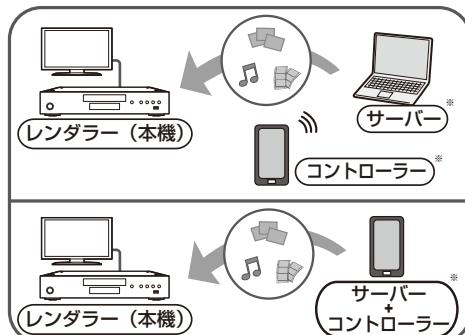
お部屋ジャンプリンクを終了するには

[ホーム] を押す

DMC から操作してサーバーの コンテンツを再生する

スマートフォンやタブレットなどの DMC（デジタルメディアコントローラー）対応機器を操作して、レンダラー（本機）上でネットワークに接続されたサーバーのコンテンツを再生することができます。

使用例)



* DMC と互換性を持つソフトウェアをインストールしてください。

準備

26 ページの準備①、②の操作を行ってください。

- 1 [ホーム] を押す
- 2 「ホームネットワーク」を選ぶ
- 3 「メディアレンダラー」を選ぶ
- 4 「ホームネットワーク経由で接続」または
「ダイレクトアクセスで直接接続」を選んで、**決定** を押す
 - 画面の指示に従って、設定してください。

5 DMC 対応機器を操作する

メディアレンダラーを終了するには

[ホーム] を押す



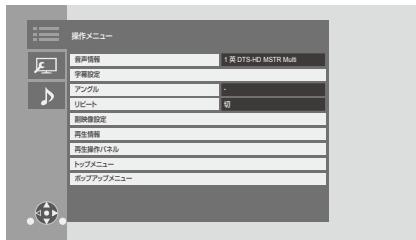
- ホームネットワーク機能を使用中に接続するダイレクトアクセスは一時的なものであり、ネットワーク接続方法はホームネットワーク機能を終了するときに元の設定に戻ります。
- お使いの機器や接続環境によって、データ転送が遅くなることがあります。
- コンテンツや接続機器によっては、再生できないことがあります。
- 画面上で灰色表示されている項目は、本機で再生できません。

再生設定をする

再生方法のさまざまな設定をすることができます。設定が可能な項目はコンテンツや機器の状態によって異なります。

1 [サブメニュー] を押す

例) Ultra HD ブルーレイ



- 音楽再生時は「再生設定」を選び、【決定】を押してください。

2 項目を選び、設定を変更する

設定を終了するには
[サブメニュー] を押す

言語についての情報は：(→ 45)

操作メニュー

■ 音声情報 (→ 21)

この設定は、リモコンの【音声】を押しても表示されます。

■ 音声チャンネル

音声 (L/R) を切り替えます。

■ 字幕情報

■ 字幕設定

字幕の設定を変更します。

この設定は、リモコンの【字幕】を押しても表示されます。

■ アングル

アングルを選びます。

■ リピート

繰り返し再生の方法を選びます。

- チャプターやプレイリスト、ディスク全体などの各種リピート再生が可能ですが、メディアにより可能ないリピートの種類は異なります。

- 取り消すには、「切」を選んでください。

■ シャッフル

順不同で再生します。

■ スライドショー開始

スライドショーを開始します。

■ 画面表示

再生状態を表示します。

■ 右 90° 回転

■ 左 90° 回転

写真を回転します。

■ 壁紙登録

ホーム画面の壁紙を設定します。(→ 20)

■ 映像情報

映像の記録方法を表示します。

■ 副映像設定

映像情報	映像の入／切を選びます。映像の記録方法を表示します。
音声情報	音声や言語の入／切を選びます。

■ 再生情報 (→ 22)

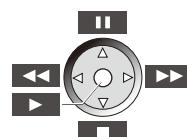
この設定は、リモコンの【再生情報】を押しても表示されます。

■ 再生操作パネル

再生操作パネルを表示します。

ビエラリンクなどを使いの場合に表示されます。

例)



再生操作パネルを終了するには、【戻る】を押してください。

■ トップメニュー

トップメニューを表示します。

■ ポップアップメニュー

ポップアップメニューを表示します。

■ メニュー

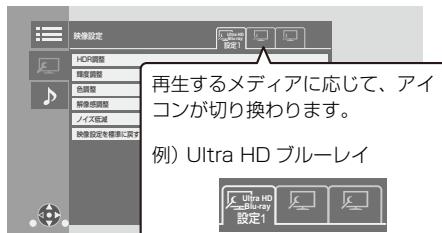
メニューを表示します。

■ 電波状態表示

お部屋ジャンプリンク再生中に電波状態を表示します。(無線接続時のみ)

映像設定

この設定は、リモコンの【映像設定】を押しても表示されます。



[◀][▶]を押して「設定1」、「設定2」、「標準」を切り替えます。

- 「設定1」 / 「設定2」は、好みの設定が登録できます。登録内容は BD ビデオおよび Ultra HD ブルーレイ再生時と、それ以外の場合で別々に記憶されます。(「設定1」と「設定2」のお買い上げ時の設定は、「標準」の設定と同じです)
- 「標準」の設定は変更できません。

■ ディスプレイ

お使いの機器に適した設定を選びます。

■ 映像素材

再生時の画質を選びます。

■ HDR 調整

この設定は、リモコンの [HDR 設定] を2秒以上押し続けでも表示されます。(→ 21)

黒レベル、白 / 黒階調、システム gamma、以下の設定を調整します。

● HDR トーンマップ :

「入」に設定すると、再生コンテンツが持つ輝度情報 (HDR10 メタデータ) に応じて、高輝度のシーンの階調を滑らかに表示することができます。

– HDR(PQ) 素材のみに有効な機能です。

– お使いのテレビに応じて初期設定の「HDR ディスプレイタイプ」を設定すると、より効果が高まる場合があります。(→ 32)

● ダイナミックレンジ調整 :

HDR 対応のテレビと接続し、HDR (ハイダイナミックレンジ) ビデオ出力時に画面全体の明るさを設定します。

● ダイナミックレンジ変換調整 :

HDR (ハイダイナミックレンジ) 入力に対応していないテレビと接続したときに、HDR の映像信号を、設定値に応じて通常のダイナミックレンジに変換して出力します。設定値を小さくすると、HDR 映像の明暗比がより忠実に再現されますが、全体的に画面が暗くなります。明るくする場合は、設定値を大きくしてください。

■ 輝度調整

映像の明るさ、黒レベル、白 / 黒階調、システム gamma を調整します。

■ 色調整

映像の色の濃さ、色あいを調整します。

■ 解像感調整

映像の鮮明さを調整します。数値が大きいほうが、より鮮明になります。

■ ノイズ低減

動画に発生する不要なノイズを補正します。数値が大きいほうが、より低減されます。

■ 帯域制限

帯域制限を調整します。

■ プログレッシブ処理

プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

- 「オート」でぶれが生じる場合は、「ビデオ」を選んでください。

■ 映像設定を標準に戻す

選択している「設定1」 / 「設定2」の映像設定をお買い上げ時の設定に戻します。

音声設定

■ 音質効果^{*1 *2}

お好みの音質に設定します。

(サンプリング周波数を 192 kHz/32 bit まで上げることができます)

この設定は、リモコンの【音質効果】を押しても表示されます。

- ナイトサラウンド：

夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声をお楽しみいただけます。

– 192/176.4 kHz より大きいサンプリング周波数の音声は、192/176.4 kHz にダウンサンプリングして出力されます。

- リマスター：

メディアやコンテンツに記録されていない高い周波数信号を付け加えることで、より豊かな高音質を楽しめます。

– 192 kHz 以上のサンプリング周波数の音声に対しては無効です。

音源に適した設定

リマスター1	ポップス・ロックなど
リマスター2	ジャズなど
リマスター3	クラシックなど

- 真空管サウンド：

真空管アンプに接続したときのような、暖かい音質を楽しめます。

– 192 kHz 以上のサンプリング周波数の音声に対しては無効です。

お勧めの設定

真空管サウンド1	はっきりした、鮮明な音声
真空管サウンド2	しっかりした、ハイファイの音声
真空管サウンド3	柔らかく、豊かな音声
真空管サウンド4	はっきりした、力強い音声
真空管サウンド5	特長的な中間の音声
真空管サウンド6	柔らかく、包み込むような音声

■ 音質効果周波数

「音質効果」で選んだ音声の最大サンプリング周波数を設定します。

- 「96/88.2kHz」を選択した場合でも、サンプリング周波数が 96 kHz 以上の音源は元のサンプリング周波数で出力されます。

- 「音質効果」を「切」に設定している場合、この設定の効果はありません。

■ DSD-PCM 変換周波数設定

お好みの音質にするために設定します。

- 「352.8 kHz」に設定していても、デジタル音声出力時は「176.4 kHz」設定と同じ音声出力になります。

■ DSD LPF 設定

お好みの音質にするために設定します。

■ シネマボイス^{*2}

センターチャンネルの音量を大きくして、セリフを聞き取りやすくします。

■ ハイクラリティサウンド

音質に影響を与える信号処理を停止したり、本体表示窓を消灯することで、音質をよりクリアにします。

- (→ 33)

映像を出力するかどうかを選びます。

この設定は、リモコンの【ハイクラリティ】を押しても表示されます。

- 「入（映像切）」を選択している場合、動画再生を終了すると設定は解除されます。

■ アナログ出力フィルター

内蔵 DAC（デジタルアナログコンバーター）のデジタルフィルターの設定を行うことができます。

■ アナログ音量（dB）

すべてのアナログ音声出力端子の音量を調整します。

※ 1 各機能を同時に設定することはできません。

※ 2 HDMI 出力やデジタル音声出力時には、「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ使用できます。（→ 33）

3D 設定

■ 出力方式

オリジナル	元の映像で表示します。
サイドバイサイド	2 画面表示の映像を 3D 再生します。

■ 画面表示の飛び出し量

3D 再生中の再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。

本機の設定を変える（初期設定）

必要に応じて設定を変更してください。設定内容は、本機の電源を切っても保持されます。

- 1 [ホーム] を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「初期設定」を選ぶ



4 項目を選び、設定を変更する

画面を消すには

[ホーム] を押す

HDMI

■ 出力解像度

接続した機器が対応している項目には、画面上に「*」が表示されます。「*」の付いていない項目を選べば、映像が乱れることができます。

- 「オート」*1 を選ぶと、接続した機器に適した解像度を自動で選びます。

■ 4K/60p 出力

4K*2/60p 対応テレビと接続している場合、自動で4K/60p 出力します。

- 「出力解像度」を「オート」や「4K」に設定している場合のみ有効です。
- 「音声出力端子設定」を「映像+音声」に設定している場合は働きません。
- 4K/60p (4:4:4/8bit) または 4K/60p (4:2:2/12bit) に対応しているテレビと接続する場合、「4K/60p (4:4:4)」に設定してください。
HDMI ケーブルが 18 Gbps 対応していない場合は、映像が正常に出力されません。
- 4K/60p (4:2:0/8bit) に対応しているテレビと接続する場合、「4K/60p (4:2:0)」に設定してください。

■ 24p 出力

BD ビデオの映画など 24p*3 で記録された素材の再生時に、24p 出力します。

- 4K/24p 対応テレビと接続している場合、「出力解像度」を「オート」または「4K」に設定時に 4K/24p で出力されます。
- 1080/24p 対応のテレビと接続している場合、「出力解像度」を「オート」または「1080i」、「1080p」に設定時に 1080/24p で出力されます。
- 24p で出力したときに、映像が乱れる場合は、「切」にしてください。

■ 映像出力端子設定

HDMI 映像出力端子からの音声を出力するかどうかを設定します。

- アンプを HDMI 音声出力端子に接続している場合、「オート（映像のみ／映像+音声）」に設定していると、テレビから音声が出力されない場合があります。その場合は、「映像+音声」に設定してください。

■ 音声出力端子設定

HDMI 音声出力端子からの映像を出力するかどうかを設定します。

- 「映像+音声」に設定している場合、HDMI 出力端子から 3D、4K、HDR 映像の出力はできません。

■ Dolby Vision 設定

Dolby Vision 機能の有効／無効の設定ができます。「入」に設定すると、以下の場合に Dolby Vision 機能をお楽しみいただけます。

- Dolby Vision 対応機器（テレビなど）と接続時 (→ 10)
- Dolby Vision 対応ディスクを再生時
- Dolby Vision で出力中は、「映像設定」(→ 29) は無効になります。
- 以下のすべての条件を満たしている場合、Dolby Vision と HDR10+ の両方が有効になります。その場合、HDR10+ での再生が優先されます。
- 再生するメディアやコンテンツが Dolby Vision と HDR10+ の両方のフォーマットで記録されている場合
- 接続機器（テレビなど）が Dolby Vision と HDR10+ の両方に対応している場合
- 「Dolby Vision 設定」と「HDR10+ 設定」が両方「入」に設定されている場合

■ HDR10+ 設定

- HDR10+ 機能の有効／無効の設定ができます。
- 「入」に設定すると、以下の場合にHDR10+機能をお楽しみいただけます。
- HDR10+ 対応機器（テレビなど）と接続時 (→ 10)
 - HDR10+ 対応ディスクを再生時
 - HDR10+ 出力中は、「HDR調整」(→ 29) は無効になります。
-

■ 詳細設定

[決定] を押して、さらに設定します。

➤ MASTER GRADE VIDEO CODING

(MGVC 対応の BD ビデオ)

スタジオマスターと同等の滑らかで質感豊かな高画質映像で再生します。(→ 23)

➤ カラースペース

映像信号のカラースペース変換方法を選びます。

➤ Deep Color 出力

Deep Color対応テレビと接続時に使用する出力方法を設定します。

➤ HDR/ 色域出力

HDR（ハイダイナミックレンジ）素材の出力方式を設定します。

➤ SDR/HDR 変換（テレビでネット）

ネットワークサービスのコンテンツを再生時に、SDR（通常のダイナミックレンジ）コンテンツをHDR（ハイダイナミックレンジ）信号に変換し、コンテンツが切り換わるときの画面の乱れを抑えることができます。（コンテンツによっては効果が得られない場合があります）

➤ HLG/PQ 変換

HDR（PQ）方式のみ対応のテレビと接続している場合に、HLG方式のHDR（ハイダイナミックレンジ）映像をPQ方式に変換して出力するかどうかを設定します。

- 「HDR/ 色域出力」が「HDR/BT.2020（オート）」以外の場合、この設定は無効です。
-

➤ HDR ディスプレイタイプ

接続しているHDR対応ディスプレイの種類を設定します。「映像設定」の「HDRトーンマップ」はこの設定に基づいて調整されます。(→ 29)

➤ 25p/50p 出力

25p/50p 対応テレビと接続時、Ultra HD ブルーレイ／ブルーレイディスクの25p/50p/50iの素材を25p/50pで出力するかを設定します。

- 「切」に設定すると、30p/60pに変換して出力します。
-

➤ HDCP 出力設定

アンプやスピーカーを介してHDCP2.2非対応のテレビと接続すると、一部の映像が黒画面になる場合があります。その場合は「HDCP1.4制限出力」に設定してください。

➤ コンテンツタイプフラグ

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生するコンテンツによってテレビが最適な方法に調整し出力します。

➤ 音声出力

音声をHDMI出力端子から出力するかどうかを設定します。

- HDMI出力端子で音声を楽しむ場合は、「入」に設定してください。HDMI以外（光／同軸／2ch音声出力）の音声出力端子で音声を楽しむ場合は、「切」に設定してください。「映像出力端子設定」と「音声出力端子設定」の設定に関係なく、HDMI出力端子からは、音声が出なくなります。
-

➤ 7.1ch 音声リマッピング

6.1チャンネル以下のサラウンド音声を自動的に7.1チャンネルに拡張して再生します。

- 「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。（6.1チャンネルの場合は5.1チャンネルで再生します）
- 以下の場合に有効です。

– 「デジタル出力」が「PCM」の場合

– 音声が Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD または LPCM の場合

– BD ビデオ再生時

※ 1 お使いのテレビの最高解像度が表示されます。

※ 2 横4000X縦2000ピクセル前後の高解像度の映像・表示技術です。

※ 3 24コマ／秒で記録されたプログレッシブ（順次走査）方式です。BDビデオの映画ソフトは、多くが映画ファイルムに合わせて24pで記録されています。

映像設定

■ スチルモード

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

オート	表示方法は自動で選ばれます
フィールド	動きのある映像や「オート」選択時にぶれが生じるとき
フレーム	「オート」選択時に細かい絵柄などが見えにくいとき

■ シームレス再生

- 番組と番組のつなぎ目などをなめらかに再生します。
- コンテンツによって効果を得られない場合があります。
 - 「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

音声設定

■ 音声のダイナミックレンジ圧縮

小音量でもセリフを聞き取りやすくなります。

Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD の音声に有効です。

- 「オート」を選ぶと、Dolby TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

■ デジタル出力

[決定] を押して、さらに設定します。

- Dolby Audio
- DTS/DTS-HD
- AAC

音声の出力信号を選びます。

- 上記のデコーダーを搭載していない機器と接続する場合は、「PCM」を選んでください。本機でデコードした音声を接続機器へ伝送します。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーが破損するおそれがあります。

➤ BD ビデオ副音声・操作音

主音声と副音声をミックスして出力します。(操作音を含む)

- 「切」を選ぶと、操作音・副音声は出力されません。



- Dolby Atmos®やDTS:X®に対応したBDビデオを楽しむには上記音声出力に対応したAVアンプなどにHDMIケーブルで接続し、以下のように設定してください。

- Dolby Audio: 「Bitstream」
- DTS/DTS-HD: 「Bitstream」
- BD ビデオ副音声・操作音: 「切」

Dolby Atmos はドルビーラボラトリーズの商標です。

■ 光・同軸ダウンサンプリング

光・同軸端子からダウンサンプリングして音声出力をするときの最大サンプリング周波数を設定します。

- 接続機器が対応する周波数に設定してください。
- BD ビデオの再生中は、以下の設定にかかるわらず 48 kHz に変換されます。
 - サンプリング周波数が 192 kHz 以上の信号
 - 著作権保護処理がされているディスク
 - 「BD ビデオ副音声・操作音」が「入」

■ ダウンミックス

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

- 2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能がある機器に接続するときは、「ドルビーサラウンド」を選んでください。
- 「デジタル出力」が「Bitstream」のときは、ダウンミックスの効果はありません。
- 以下の場合は、「ノーマル」で出力されます。
 - AVCHD 再生時
 - BD ビデオ: 副音声や操作音を含んでの再生時

■ 音楽再生時の HDMI 出力設定

「音質優先」に設定すると、音楽再生時に映像出力を自動的に 1080i に変更することにより、音声ノイズを抑えます。

■ ハイクライアリティサウンド出力設定

「ハイクライアリティサウンド」(→30) を「入（映像切）」または「入（映像入）」に設定している場合、音声信号処理を停止する端子や本体表示窓の点灯・消灯を設定します。

- 動画再生時と音声再生時それぞれ設定します。

■ 音声ディレイ

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

■ アナログマルチチャンネル出力設定

マルチチャンネルサラウンド音声をアナログ音声出力端子から出力します。

- 「入」に設定すると、HDMI 出力端子からは音声が出力されません。
 - スピーカーの配置やサイズ



- 遅延時間 (ms)

- チャンネルバランス (dB)

スピーカーの設定を終了するには

「終了」を選択する

3D 設定

■ 3D ディスクの再生方法

3Dディスクの再生方法を選びます。

■ 3D 番組の出力方法

3D番組の出力方法を選びます。

■ 3D 再生時の注意表示

3D映像再生時に、3D視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

言語

■ 音声言語

再生時の音声言語を選びます。

- 「オリジナル」を選ぶと、ディスクの最優先言語で再生します。
- 選択された言語がディスクに記録されていない場合やディスクのナビゲーションの作り方によっては、選択された言語と異なる言語で再生される場合があります。
- 「その他 * * * *」を選んだ場合、言語番号 (→ 45) を入力してください。

■ 字幕言語

再生時の字幕言語を選びます。

- 「オート」を選ぶと、「音声言語」で選んだ言語と異なる言語の音声が再生された場合のみ、「音声言語」で選択されている言語の字幕を表示します。
- 選択された言語がディスクに記録されていない場合やディスクのナビゲーションの作り方によっては、選択された言語と異なる言語で再生される場合があります。
- 「その他 * * * *」を選んだ場合、言語番号 (→ 45) を入力してください。

■ メニュー言語

ディスクメニューの表示言語を選びます。

- 「その他 * * * *」を選んだ場合、言語番号 (→ 45) を入力してください。

ネットワーク

■ かんたんネットワーク設定 (→ 18)

■ ネットワーク通信設定

ネットワーク関連の設定を個別に設定することができます。[決定] を押して、さらに設定します。

➤ LAN 接続形態

ネットワーク接続の方法を選びます。

- 無線を使用しない（無線を切っている）場合は、「有線」を選んでください。

➤ 無線設定

無線接続するために、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）と接続設定を行います。現在の接続状態と設定を確認できます。

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）接続画面が表示されます。

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）への接続方法を選んでください。

無線ネットワーク検索

ブッシュボタン方式

PIN コード方式

無線 LAN 接続時の暗号化設定を簡単に行なうことができます。接続する無線アクセスポイントに、本機で生成した PIN コードを入力することで、無線 LAN 接続を行なうことができます。

手動設定

「無線ネットワーク検索」で接続したい無線アクセスポイントが見つからない場合や、他の方式で無線 LAN 接続ができない場合に、手動で SSID を入力し、無線 LAN 接続を行います。

➤ IP アドレス /DNS 設定

ネットワークの接続状態を確認したり、IP アドレスや DNS の設定を行うことができます。

[決定] を押して、さらに設定します。

➤ プロキシサーバー設定

プロキシサーバーの接続状態を確認したり、設定したりすることができます。

[決定] を押して、さらに設定します。

➤ テレビでネット設定 (→ 25)

[決定] を押して、さらに設定します。

テレビでネット自動音量調整

テレビでネットをお使いの場合、コンテンツによって異なる音量を、自動的に標準の音量にします。

- コンテンツによっては、効果がない場合があります。
- 音声がひずむ場合は「切」に設定してください。

➤ リモート機器設定 (→ 27)

[決定] を押して、さらに設定します。

本機の名称

接続機器側で表示される本機の名称を設定します。

アクセス許可方法

自動	本機にアクセスしたすべての機器の接続を自動で許可します
手動	本機にアクセスした機器の接続を個別に許可するかどうかを設定します

機器一覧

「アクセス許可方法」で「手動」を選択している場合、表示された機器の登録および登録の解除をすることができます。

- 16台まで登録できます。

ネットワークスタンバイ

「クイックスタート」の設定が「切」の場合でも、リモート機器（スマートフォンやタブレット）を使って、電源[切]の待機状態から「テレビでネット」のいくつかのコンテンツを起動することができます。

- リモート機器からの操作を可能にするために、「入」に設定してください。ただし、待機時消費電力(→ 43)が増えます。
- この機能を使用するには、プレーヤーをネットワークスタンバイ状態から起動できるリモート機器と、「テレビでネット」の各サービスに対応したアプリが必要です。詳細についてはアプリの説明書をご参照ください。
- 「機器一覧」で登録された機器のみ操作できます。

➤ BD-Live インターネット接続 (→ 23)

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

- 「有効(制限付き)」が選ばれていると、BD-Live コンテンツ制作者の証明書が含まれているときのみインターネットへの接続を許可します。

視聴制限

入力した暗証番号は、以下の設定で共通です。
暗証番号は忘れないでください。

DVD-Video の視聴制限

DVDビデオの視聴制限ができます。

BD-Video の視聴可能年齢

BDビデオ（Ultra HD ブルーレイも含む）の視聴可能な下限年齢を設定できます。

テレビでネット 視聴制限

「テレビでネット」の視聴制限ができます。

システム設定

かんたん設置設定

本機の基本的な設定を行います。

自動電源オフ

「入」に設定した場合、再生をしていない状態で、約20分操作を行わないと、節電のため自動的に電源が切れます。

テレビ設定

[決定] を押して、さらに設定します。

➤ テレビ画面の焼き付き低減機能

テレビ画面の焼き付きを低減するための設定です。

- 「入」に設定時、再生一覧画面表示中に5分以上操作を行わないと、自動的にホーム画面に切り換わります。
- 再生や一時停止などの操作中は働きません。

➤ 画面表示動作 [オート]

操作時の表示をテレビ画面に自動で表示するかどうかを設定します。

➤ ECO スタンバイ

ビエラリンク（HDMI）Ver. 4 以降に対応したビエラと接続時、ビエラの電源「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。

- 「入」に設定すると、ビエラの電源「切」時に、「クイックスタート」(→ 36)を「切」に設定したときと同じように動作します。
ビエラの電源「入」時には、「クイックスタート」は実際の設定どおりに動作します。

➤ ビエラリンク制御

ビエラリンク（HDMI）に対応した機器とHDMIケーブルで接続したときに、連動操作の設定をします。

- この機能を使わないときは、「切」を選んでください。

■ オートサウンド連携

ビエラリンク（HDMI）に対応した機器と HDMI ケーブルで接続したときに、自動的に適したサウンドに切り替えます。

- ・「ビエラリンク制御」が「入」の場合に有効

■ AVCHD 優先モード

ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。

- ・「入」はハイビジョン動画（AVCHD）を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

■ 本体表示窓の明るさ

本体表示窓の明るさを調節します。

この設定は、リモコンの【ディマー】を押しても表示されます。

- ・「オート」を選ぶと、再生中は暗くなり、それ以外は明るくなります。
- ・「ハイクラリティサウンド出力設定」の「本体表示窓点灯」を「切」に設定している場合は働きません。
（→ 33）
（「ハイクラリティサウンド」を「切」に設定時以外）

■ クイックスタート

電源「切」状態からの起動を高速化します。

- ・「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて待機時消費電力（→ 43）が増えます。
- ・内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。

■ リモコンモード

リモコン操作時に本機以外の当社製機器が反応するときは、リモコンモードを変えてください。

■ リモコンのテレビ操作部設定（→ 18）

本機のリモコンでテレビを操作するための設定を行います。

■ ソフトウェア更新（→ 19）

【決定】を押して、さらに設定します。

▶ ソフトウェアの自動更新確認

本機をネットワーク接続している場合、本機の電源を入れたときに自動的にソフトウェアのバージョンを確認することができます。

▶ ソフトウェア更新の実行

手動でソフトウェアの更新ができます。

■ システム情報

【決定】を押して、さらに設定します。

▶ ライセンス

本機が使用しているソフトウェア情報を表示します。

▶ ソフトバージョン情報

本機のソフトウェアや無線 LAN モジュールのバージョン情報を表示します。

■ 初期設定リセット

ネットワークやリモコン、視聴制限などの設定を除き、初期設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。

それでも直らないときや、症状が載っていないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 次のような場合は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音
- 早送り・早戻し時の映像の乱れ
- 電源切／入時の音
- 3D ディスク入れ替え時の画面の乱れ

■ 本機が操作を受け付けなくなったときは

本機の【**△/I**】を約3秒間押したままにしてください。

- 本機の電源が切れない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込んでください。

■ 本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなります。性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源プラグを抜いてから3分以上待ってください。

● 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ ソフトウェアを更新していますか？

映画の再生時などの動作を改善するために、ソフトウェアは随時更新されています。（→ 19）

■ ディスクが取り出せないときは

- ① 本機の電源「切」状態で、リモコンの【**決定**】、【**青**】、【**黄**】を同時に5秒以上押す
- 本体表示窓に「00 RET」が表示されます。
- ② 本体表示窓に「06 FTO」が表示されるまでリモコンの【**▶**】（右）を数回押す
- ③ 【**決定**】を押す

いろいろな操作

基本設定以外の設定をお買い上げ時の状態に戻すには？

- 「初期設定リセット」で「する」を選びます。（→ 36）

お買い上げ時の設定に戻すには？

- 下記の操作をすると、すべての項目がお買い上げ時の状態に戻ります。
- ① 本機の電源「切」状態で、リモコンの【**決定**】、【**青**】、【**黄**】を同時に5秒以上押す
- 本体表示窓に「00 RET」が表示されます。
- ② 本体表示窓に「08 FIN」が表示されるまでリモコンの【**▶**】（右）を数回押す
- ③ 【**決定**】を5秒以上押す

自動的に電源が切れる

- ビエラリンク（HDMI）Ver.4以降に対応のビエラと接続した場合、ビエラリンクの連動操作が働いていることがあります。詳しくは接続したテレビの説明書をご覧ください。
- 「自動電源オフ」を「入」に設定している場合は、再生をしていない状態（一時停止中、メニュー画面表示中、写真表示中などを含む）で約20分以上操作を行わないと、メディアによっては節電のため自動的に電源が切れます。（→ 35）

リモコンが働かない

- 本機とリモコンのリモコンモードが異なっていますか。電池を交換すると、リモコンモードが変更される場合があります。その場合は設定を直してください。
表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、
【**決定**】を3秒以上押したままにしてください。



暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい

- 視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。
- ① 本機の電源「入」状態で、
リモコンの【決定】、【青】、【黄】を同時に5秒以上押す
 - 本体表示窓に「00 RET」が表示されます。
- ② 本体表示窓に「03 VL」が表示されるまでリモコンの【▶】(右)を数回押す
- ③ 【決定】を押す

テレビ画面が黒くなる

- 下記の場合、HDMI 認証動作のために一時的に画面が暗くなります。
 - 「24p 出力」が「オート」の場合
 - 2D と 3D 映像の切り替え時
 - ホーム画面などの他の画面を表示することで、
4K 再生が止まる場合
 - 「音楽再生時の HDMI 出力設定」が「音質優先」
の場合

USB 接続を正しく認識しない

- USB を抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。
- 以下のものを使って本機に USB 機器を接続した場合は、認識しないことがあります。
 - USB ハブ
 - USB 延長ケーブル
- 本機に USB 接続の HDD を接続する場合、HDD に付属の USB ケーブルをご使用ください。
- USB 接続の HDD が認識されない場合は、HDD に電源が供給されていない可能性があります。外部から電源を供給してください。
- ホーム画面以外の画面を表示中に 2 つ目の USB 機器を接続した場合、USB 機器の画面は表示されない場合があります。ホーム画面を表示し、お使いになりたい USB 機器を再度挿入してください。

映像

本機からの映像がテレビに映らない、または乱れる

- 「出力解像度」でテレビが対応していない解像度を選んでいませんか。
下記の操作をすると、設定を解除できます。
- テレビなどの接続機器を変更していませんか。
下記の操作をすると、設定を解除できます。
- ① 本機の電源「入」状態で、
リモコンの【決定】、【青】、【黄】を同時に5秒以上押す
 - 本体表示窓に「00 RET」が表示されます。
- ② 本体表示窓に「13 L4K」が表示されるまでリモコンの【▶】(右)を数回押す
- ③ 【決定】を 5 秒以上押す
 - 「4K/60p 出力」が「切」に設定されます。もう一度設定し直してください。(→ 31)
 - Dolby Digital Plus または Dolby TrueHD、
DTS-HD® の音声が適切に出力されなくなった場合は、「初期設定リセット」(→ 36) で「する」を選んでから、正しく設定し直してください。
- 再生するコンテンツは再生可能なフォーマットですか？(→ 43)
- 「3D ディスクの再生方法」が「3D 再生」に設定されている場合、接続方法によっては映像が正常に出力されない場合があります。一度ディスクを取り出してから「再生時選択」を選び直し、3D ディスク再生時に表示される設定画面で「2D 再生」を選んでください。(→ 34 「3D ディスクの再生方法」)
- 4K 出力時、HDMI ケーブルによっては映像が乱れる場合があります。18 Gbps 対応の HDMI ケーブルをお使いください。

映像が出力されない

- 「ハイクラリティサウンド」が「入 (映像切)」に設定されている場合、映像は出力されません。
(→ 30)
- 「音声出力端子設定」が「音声のみ」に設定されていると、HDMI 音声出力端子から映像は出力されません。(→ 31)

4K またはハイビジョン映像で出力されない

- 「出力解像度」を正しく設定してください。
(→ 31)
- HDMI ケーブルや機器の接続、テレビの映像入力の互換性を確認してください。4K で映像を出力する場合、HDMI ケーブルを接続機器の 4K 対応端子に接続してください。**(→ 10)**
- 「音声出力端子設定」を「音声のみ」に設定してください。**(→ 31)**
- 接続中の 4K 対応テレビで 4K/60p の映像をお楽しみいただく場合、「4K/60p 出力」を「4K/60p (4:4:4)」または「4K/60p (4:2:0)」に設定してください。**(→ 31)**
- 「4K/60p 出力」が「4K/60p (4:4:4)」に設定されている場合、接続中の HDMI ケーブルが 18 Gbps を確認してください。**(→ 10, 31)**
- 4K(60p) 4:2:0 まで対応しているテレビを接続している場合、または「4K/60p 出力」を「4K/60p (4:2:0)」に設定している場合、4K(60p) で記録された素材は、HDR で出力することはできません。
24p で記録された素材を再生する場合は、「24p 出力」を「オート」に設定してください。**(→ 31)**

HDR 対応テレビに接続しているのに、HDR でビデオを出力できない

- HDR に対応していない機器（テレビやアンプなど）や端子に接続した場合、HDR 信号をダイナミックレンジ変換して出力します。また、ディスクによっては 2K 解像度での出力、または正しく再生できない場合があります。**(→ 23)**
- 素材によっては、ご使用のテレビで HDR 出力できない場合があります。「HDR/ 色域出力」を「HDR/BT.2020 (オート)」に、「HLG/PQ 変換」を「オート」に設定してください。**(→ 32)**

3D 映像が出力されない

- 3D 対応の機器に接続してください。（テレビやアンプなど）
- 本機とテレビの間に 3D 非対応のアンプを接続している場合、3D 映像は出力されません。**(→ 13)**
- 「音声出力端子設定」を「音声のみ」に設定してください。**(→ 31)**
- 本機とテレビの 3D 設定を確認してください。
(→ 23)

3D 映像が正しく 2D 出力されない

- 「3D ディスクの再生方法」で「再生時選択」を選んで、3D ディスク再生時に表示される設定画面で「2D 再生」を選んでください。**(→ 34 「3D ディスクの再生方法」)**
- 3D をお楽しみいただけるディスクや、サイドバイサイド（2画面構成）などの放送を記録したディスクは、テレビ側の設定に従って再生されます。

Netflix の映像が出力されない

- HDCP2.2 非対応のテレビと、アンプやスピーカーを経由して接続している場合、Netflix をご覧になることができない場合があります。*
HDCP2.2 非対応のテレビをお使いの場合は、下記のいずれかの方法をお試しください。
 - 本機とテレビを直接接続してください。**(→ 13)**
 - 「HDCP 出力設定」を「HDCP1.4 制限出力」に設定してください。**(→ 32)**

* Netflix 社の仕様に基づく動作です。
黒画面が表示された場合は、【戻る】を押してください。

USB 機器の映像が滑らかに再生できない

- USB3.0 に対応した本体背面の USB 端子に接続して再生してください。

映像の上下左右に黒帯がついて再生される**画面サイズがおかしい**

- テレビ側で画面サイズ比を変更してください。

再生時の映像に残像が多い

- 「ノイズ低減」の各項目を「0」にしてください。
(→ 29)

画面の明るさが自動的に変わる

- Dolby Vision や HDR10+ 機能で再生中の場合、シーンに合わせて画面の明るさが自動的に変わります。

音声

聞きたい音声が聞こえない

- 接続や「デジタル出力」の設定を確認してください。
(→ 11、33)
- 本機の7.1ch音声出力端子にアンプを接続している場合、「アナログマルチチャンネル出力設定」を設定してください。(→ 33)
- HDMIケーブルで接続した機器から音声を出力する場合、「音声出力」を「入」にしてください。
(→ 32)
- 本機のHDMI映像出力端子にテレビ、HDMI音声出力端子にアンプを接続している場合、「映像出力端子設定」を「オート（映像のみ／映像+音声）」に設定してください。(→ 11、31)

ライブやコンサートの音源を収録したアルバムなど（曲間をつなげて収録している音楽ファイル）をギャップレス再生しても、曲間が途切れる

- 以下の場合、曲間が途切れ再生されます。
 - ギャップレス再生するファイルの中に、ファイルフォーマットやサンプリング周波数、チャンネル数などが異なるファイルが含まれている場合
 - 1フォルダ内に100曲以上のファイルがある場合

アナログ音声出力端子から出力される音が大きすぎる、または小さすぎる

- 「アナログ音量（dB）」でアナログ音声出力端子の音量を調整してください。(→ 30)

HDMI音声出力端子 / 光・同軸端子から 192 kHzより大きいサンプリング周波数の音声 が出力できない

- 本機ではアナログ音声出力端子のみが192 kHzより大きいサンプリング周波数の音声出力に対応しています。192 kHzより大きいサンプリング周波数の音声出力を楽しみたい場合は、アナログ音声出力端子に接続してください。

音が出ない

- 光・同軸端子から音声を出力する場合、「光・同軸ダウンサンプリング」を適切に設定してください。
(→ 33)
- 「アンプと接続する」(→ 11～16)を参照のうえ、お使いの機器の接続方法に合った音声出力の各種設定を確認してください。以下の場合は各端子から音声が不出力されません。

● HDMI 映像出力端子

- HDMI音声出力端子に機器が接続されていて、「映像出力端子設定」が「オート（映像のみ／映像+音声）」に設定されているとき(→ 31)
- 「詳細設定」の「音声出力」が「切」に設定されているとき(→ 32)
- 「ハイクラリティサウンド出力設定」の「音声出力」が「同軸／光のみ出力」または「アナログのみ出力」に設定されているときの再生時(→ 33)
- 「アナログマルチチャンネル出力設定」が「入」に設定されているとき(→ 33)

● HDMI 音声出力端子

- 「詳細設定」の「音声出力」が「切」に設定されているとき(→ 32)
- 「ハイクラリティサウンド出力設定」の「音声出力」が「同軸／光のみ出力」または「アナログのみ出力」に設定されているときの再生時(→ 33)
- 「アナログマルチチャンネル出力設定」が「入」に設定されているとき(→ 33)

● 光・同軸端子

- HDMI音声出力端子に機器が接続されていて、「詳細設定」の「音声出力」が「入」に設定されているとき(→ 32)
- 「ハイクラリティサウンド出力設定」の「音声出力」が「HDMIのみ出力」または「アナログのみ出力」に設定されているときの再生時(→ 33)

● 2ch 音声出力端子

- HDMI音声出力端子に機器が接続されていて、「詳細設定」の「音声出力」が「入」に設定されているとき(→ 32)
- 「ハイクラリティサウンド出力設定」の「音声出力」が「HDMIのみ出力」または「同軸／光のみ出力」に設定されているときの再生時(→ 33)

● 7.1ch 音声出力端子

- 「ハイクラリティサウンド出力設定」の「音声出力」が「同軸／光のみ出力」に設定されているときの再生時(→ 33)
- 「アナログマルチチャンネル出力設定」が「切」に設定されているとき(→ 33)

再生

ディスクの再生が始まらない、またはすぐに停止する

- ディスクが汚れていませんか。(→ 4)
- ディスクがファイナライズされていません。(→ 7)
- Ultra HD ブルーレイディスクによっては、本機をインターネットに接続していないと再生できない場合があります。

写真 (JPEG) が正しく再生できない

- プログレッシブ JPEG など、パソコンで編集した写真は再生できないことがあります。

BD ビデオの BD-Live が再生できない

- ネットワーク接続や設定は正しいですか。
(→ 17、18、34)
- 「BD-Live インターネット接続」を確認してください。
(→ 35)
- USB 機器が USB 端子に正しく接続されているか確認してください。(→ 9)

ネットワーク

ネットワークに接続できない

- ネットワーク接続や設定は正しいですか。
(→ 17、18、34)
- 本機のホームネットワーク検出を妨げている電波干渉がある場合があります。本機がネットワーク名 (→ 19 「SSID」) を検出できるように、本機と無線プロードバンドルーター (アクセスポイント) を近づけて設置してください。
- 接続した機器の説明書や接続を確認してください。

ディーガや DLNA 対応機器などのコンテンツを再生できない

- 接続した機器側で本機が登録されていますか。
- すべてのコンテンツを再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

無線 LAN 接続をしているとき、DLNA 対応機器のコンテンツを再生できない、または再生が途切れる

- 無線プロードバンドルーター (アクセスポイント) との接続が 802.11ac または 11n (2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) で、暗号化方式が「AES」になっているか、ご確認ください。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。
- 「無線設定」(→ 34) の画面で「電波状態」のインジケーターが 4 つ以上点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3 つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、無線プロードバンドルーター (アクセスポイント) の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、かんたんネットワーク設定 (→ 18) を再度行ってください。

こんな表示が出たら

テレビ画面または本体表示窓にメッセージや数値が表示されたときは、下記をご確認ください。

- ・下記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店または「修理に関するご相談窓口」(→裏表紙)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、テレビ画面または本体表示窓に表示されるメッセージをお知らせください。

テレビ画面

読み込みできません。ディスクを確認してください。

- 非対応のディスク（ビデオ CDなど）が入っています。

再生できません。

- 非対応のディスク（映像方式が異なるディスクなど）が入っています。

本機では再生できません。

- 非対応の画像を再生しようとしています。
再生できる画像について(→43「ファイルフォーマット」)

ディスクが入っていません。

- ディスクが裏返しになってしまいか。

○ この操作は現在できません。

- 本機が操作を制限しています。
(例：逆スロー再生)

IP アドレスが設定されていません。

- 「IP アドレス /DNS 設定」で「IP アドレス」が「---, ---, ---, ---」になっています。「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定してください。(必要に応じて、アドレスの自動取得を選択してください)

セキュリティーが低い設定になっています。無線アクセスポイントの設定の変更をおすすめします。

- 無線プロードバンドルーター（アクセスポイント）の説明書を参考に、セキュリティーを高く設定してください。

本体表示窓

F99

- 本機が正常に動作しません。本体の【**H/I**】を3秒以上押して電源を切り、再度電源を入れてください。

NET

- インターネットに接続中です。

NO PLAY

- BD ビデオまたは DVD ビデオで視聴制限がかかっています。(→35)

NO READ

- メディアに汚れや傷がついているため、再生できません。

U82

- USB 機器接続に異常が発生しました。接続した USB 機器を本機から外してください。

U30 □ (□ は数字)

- 本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。
表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、**[決定]**を3秒以上押したままにしてください。



U59

- 本機の内部温度が上昇しているので、安全のため動作停止中です。
約30分間お待ちください。
できるだけ風通しのよいところに設置してください。

H□□ または F□□ (□ は数字)

- 異常が発生しました。電源を一度、切／入してください。

START

- ソフトウェアの更新のため、本機が再起動中です。
本機の電源を切らないでください。

UPDATE □/5 (□ は数字)

- ソフトウェアの更新中です。
本機の電源を切らないでください。

FINISH

- ソフトウェアの更新が完了しました。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

総合

電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	動作時：約 32 W 待機時（クイックスタート「切」 かつネットワークスタンバイ「切」）： 約 0.3 W 待機時（クイックスタート「入」）： 約 12 W

無線 LAN	規格： IEEE802.11 a*/b/g/n/ac 準拠 ARIB STD-T71 (5 GHz 帯) / ARIB STD-T66 (2.4 GHz 帯) * 従来の 11 a (J52) のみの対応機器とは接続できません。 (5 GHz 帯は屋内使用限定です。)
	セキュリティ： 暗号化方式：TKIP/AES、 認証方式：PSK WEP (64 bit/128 bit)

寸法	幅 430 mm × 高さ 87 mm × 奥行き 300 mm (突起部を含まず) 幅 430 mm × 高さ 87mm × 奥行き 325 mm (突起部を含む)
質量	約 12.5 kg
許容周囲温度	5 ℃～35 ℃
許容相対湿度	10 %～80 %RH (結露なきこと)
テレビジョン 方式	NTSC 方式
USB 端子	前面 1 系統 (DC 5 V 最大 500 mA) [ハイスピード USB (USB 2.0) 対応] 後面 1 系統 (HDD 対応) (DC 5 V 最大 900 mA) [スーパースピード USB (USB 3.0) 対応] (USB ハードディスク接続用)
音声出力 (ピンジャック)	出力レベル：2 Vrms (1 kHz, 0 dB) (<500 Ω) 端子数：2ch 出力 (1 系統) /7.1ch 出力 (1 系統)
音声出力 (バランス)	出力レベル：2 Vrms (1 kHz, 0 dB) (<500 Ω) 端子数：2ch 出力 (1 系統)
デジタル音声 出力	光デジタル音声出力 (1 系統) 同軸デジタル音声出力 (1 系統)
HDMI 出力 (19 ピン type A)	2 系統 (映像出力、音声出力)
LAN 端子	10BASE-T/100BASE-TX/ 1000BASE-T (1 系統)

ファイルフォーマット

ファイル フォーマット	拡張子	備考
MKV (圧縮方式 ビデオ： H.264/HEVC 音声：AAC/ PCM/Vorbis/ FLAC)	".MKV"、 ".mkv"	<ul style="list-style-type: none"> 最大解像度： 3840 × 2160 30p、 4096 × 2160 24p まで 映像解像度やフレームレートなどによって、正しく再生できないものもあります。
mp4 (圧縮方式 ビデオ： H.264/HEVC 音声：AAC)	".MP4"、 ".mp4"、 ".MOV"、 ".mov"	<ul style="list-style-type: none"> 最大解像度： 3840 × 2160 30p、 4096 × 2160 24p まで (MPEG2 を除く) 映像解像度やフレームレートなどによって、正しく再生できないものもあります。
MPEG (TS/PS) (圧縮方式 ビデオ： MPEG2/ H.264*1/ HEVC*1 音声：AAC*1/ Dolby Digital/ LPCM*2)	".MPG"、 ".mpg"、 ".MPEG"、 ".mpeg"、 ".M2TS"、 ".m2ts"、 ".MTS"、 ".mts"、 ".TS"、 ".ts"	<ul style="list-style-type: none"> MOTION JPEG：非対応 音声の圧縮方式によっては、映像のみ再生し、音声が不出力できない場合があります。
JPEG	".JPG"、 ".jpg"	<ul style="list-style-type: none"> MOTION JPEG、プログレッシブ JPEG：非対応 パソコンなどでフォルダ構造やファイル名を編集したものは再生できない可能性があります。
MPO	".MPO"、 ".mpo"	3D 写真
MP3	".MP3"、 ".mp3"	本機は ID3 タグに対応していますが、表示できる情報はタイトル、アーティストの名前、アルバムの名前のみです。

ファイルフォーマット	拡張子	備考
FLAC	".FLAC"、".flac"	本機はタグに対応していますが、表示できる情報はタイトル、アーティストの名前、アルバムの名前のみです。 最大：192 kHz/24 bit
WAV	".WAV"、".wav"	最大：384 kHz/32 bit
AAC	".M4A"、".m4a"	最大：48 kHz/320 kbps
WMA	".WMA"、".wma"	本機はタグに対応していますが、表示できる情報はタイトル、アーティストの名前、アルバムの名前のみです。 最大：48 kHz/385 kbps
DSD (DFF, DSF)	".DSF"、".dsf"、".DFF"、".dff"	2.8 MHz (2 ch/5.1 ch)、 5.6 MHz (2 ch/5.1 ch)、 11.2 MHz (2 chのみ)
ALAC	".M4A"、".m4a"	最大：96 kHz/32 bit/7.1 ch 最大：176.4/192 kHz/ 32 bit/5.1 ch
AIFF	".aif"、".aiff"	最大：384 kHz/32 bit

※ 1 TS のみ

※ 2 PS のみ

- メディアやフォルダの作り方によっては、再生順が異なったり再生できない場合があります。
- 同一フォルダ内に記録されたファイルとフォルダは、たとえ異なるフォーマットであってもファイル数とフォルダ数の合計 10,000 個まで再生可能です。(例えば、写真再生メニューが表示されていても、再生可能な動画や音楽ファイルが含まれていれば再生可能なファイルとしてカウントされます。)

ホームネットワーク再生可能 ファイルフォーマット

- サーバーで対応していないファイルフォーマットは、再生できません。

映像

コンテナ	映像コーデック	音声コーデック	拡張子例
MKV	H.264 HEVC	AAC PCM Vorbis FLAC	.mkv
AVCHD	H.264	Dolby Digital	.mts
MP4	H.264 HEVC	AAC	.mp4、 .mov
PS	MPEG2	Dolby Digital リニア PCM (LPCM)	.mpg、 .mpeg
TS	MPEG2 H.264 HEVC	AAC Dolby Digital	.m2ts、 .ts

写真

フォーマット	拡張子例
JPEG	.jpg

音声

音声コーデック	拡張子例
MP3	.mp3
FLAC	.flac
WAV	.wav
AAC	.m4a、.adts
WMA	.wma
ALAC	.m4a
AIFF	.aif、.aiff
DSD	.dsf、.dff
リニア PCM (LPCM)	—

メーカー番号

メーカー名	メーカー番号
パナソニック	01/10/22/24
シャープ	02/11/21/33
ソニー	03
東芝	04/32
日立	05/20
NEC	06/15
三洋	07/16
三菱	08/12/25
富士通ゼネラル	09
パイオニア	13
ピクター	14
アイワ	18
フナイ	19/29
LG	26

言語番号一覧

言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド:	7383	ケチュア:	8185	バシキール:	6665
アイマラ:	6589	ケーラスコットランド:	7168	バスカ:	6985
アイルランド:	7165	コーサ:	8872	バシュト:	8083
アゼルバイジャン:	6590	コルシカ:	6779	バンジャブ:	8065
アッサム:	6583	サモア:	8377	ビンディー:	7273
アファール:	6565	サンクリット:	8365	ビハール:	6672
アフリカーンス:	6570	ショナ:	8378	ビルマ:	7789
アブハジア:	6566	シンド:	8368	フィジー:	7074
アムハラ:	6577	シンハラ:	8373	フィンランド:	7073
アラビア:	6582	ジャワ:	7487	フェロー:	7079
アリバニア:	8381	スウェーデン:	8386	フランス:	7082
アルメニア:	7289	スペイン:	6983	フリジア:	7089
イタリア:	7384	スロバキア:	8375	ブータン:	6890
イディッシュ:	7473	スロベニア:	8376	ブルガリア:	6671
インターリング:	7365	スワヒリ:	8387	ブルターニュ:	6682
インドネシア:	7378	スンダ:	8385	ヘブライ:	7387
ウェールズ:	6789	スールー:	9085	ベトナム:	8673
ウォロフ:	8779	セルビア:	8382	ペルシア(白ロシア):	6669
ウクライナ:	8575	セルボクロアチア:	8372	ベンガル(ベンガラ):	6678
ウズベク:	8590	ソマリ:	8379	ベルシャ:	7065
ウルドゥー:	8582	タイ:	8472	ボーランド:	8076
ヴォラビック:	8679	タガログ:	8476	ボルトガル:	8084
英語:	6978	タジク:	8471	マオリ:	7773
エストニア:	6984	タール:	8484	マケドニア:	7775
エスペラント:	6979	タミル:	8465	マダガスカル:	7771
オーリヤ:	7982	チェコ:	6783	マラニ(マレー):	7783
オランダ:	7876	チベット:	6679	マラッタ:	7782
カザフ:	7575	中国語:	9072	マラヤーラム:	7776
カシミール:	7583	ティグリニア:	8473	マルタ:	7784
カタロニア:	6765	トルクメン:	8469	モルダビア:	7779
ガリチア:	7176	デンマーク:	6865	モンゴル:	7778
韓国(朝鮮)語:	7579	トイ:	8487	ヨルバ:	8979
カンカダ:	7578	トルクメン:	8475	ラオ:	7679
カンボジア:	7577	トルコ:	8482	ラテン:	7665
キルギス:	7589	トンガ:	8479	ラトビア(レット):	7686
ギリシャ:	6976	ドイツ:	6869	リトアニア:	7684
クルド:	7585	ナウル:	7865	リンガラ:	7678
クロアチア:	7282	日本語:	7465	ルーマニア:	8279
グラニ:	7178	ネバール:	7869	レトロマンス:	8277
グジャラト:	7185	ノルウェー:	7879	ロシア:	8285
グリーンランド:	7576	ハウサ:	7265		
グルジア:	7565	ハンガリー:	7285		

言語

表示	言語	表示	言語	表示	言語
日	日本語	伊	イタリア語	露	ロシア語
英	英語	西	スペイン語	韓	韓国語
仏	フランス語	蘭	オランダ語	*	その他
独	ドイツ語	中	中国語		

音声と接続・設定の関係

アンプに接続する端子と本機の設定によって、出力される音声は異なります。（→33「デジタル出力」）

- 表内の ch（チャンネル数）は、各音声フォーマットに対応したアンプと接続したときの最大チャンネル数を表しています。

HDMI 出力 / 光・同軸（デジタル音声出力）

接続端子	HDMI 出力端子				光・同軸端子			
「デジタル出力」の設定	Bitstream ^{*1}		PCM ^{*3}		Bitstream		PCM	
「BD ビデオ副音声・操作音」の設定 ^{*2}	入 ^{*4}	切	入 ^{*5}	切	入	切	入	切
Dolby Digital Dolby Digital EX ^{*6}	Dolby Digital		DVD ビデオ：5.1ch BD ビデオ：7.1ch ^{*7}	Dolby Digital Dolby Digital EX ^{*8}				
Dolby Digital Plus Dolby TrueHD			7.1ch	Dolby Digital				
DTS® Digital Surround™ DTS® Digital Surround™ ES ^{*6}	DTS® Digital Surround™	オリジナルの音声で出力	DVD ビデオ：5.1ch BD ビデオ：7.1ch ^{*9}	DTS® Digital Surround™ DTS® Digital Surround™ ES ^{*8}			ダウンミックス 2ch	
DTS-HD® High Resolution Audio			7.1ch ^{*9}	DTS® Digital Surround™				
DTS-HD® Master Audio								
7.1ch LPCM	7.1ch PCM				ダウンミックス 2ch PCM			

*1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS® Digital Surround™ の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM（例：テレビなど）で出力します。

*2 「BD ビデオ副音声・操作音」（→33）を「自動切換」に設定すると、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD® に対応した HDMI 機器を接続している場合には、オリジナルの音声を優先して出力します。

*3 接続する機器がディスクに記録されているチャンネル数に非対応の場合、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

*4 BD ビデオ：副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」（→33）を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

*5 副音声や操作音を含む BD ビデオの再生時は、5.1ch で出力します。

*6 PCM 出力する場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital として、DVD に記録された DTS® Digital Surround™ | ES は DTS® Digital Surround™ として、BD に記録された DTS® Digital Surround™ | ES は DTS® Digital Surround™ | ES としてデコードした PCM 音声になります。

*7 BD ビデオ：「7.1ch 音声リマッピング」（→32）が「切」時は 5.1ch になります。

*8 BD ビデオ：「BD ビデオ副音声・操作音」（→33）を「入」に設定した場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital、DTS® Digital Surround™ | ES は DTS® Digital Surround™ の Bitstream で出力します。ただし、副音声や操作音を含まない BD ビデオの再生時は、オリジナルの音声で出力します。

*9 DTS, Inc. の仕様により 5.1ch または 6.1ch から 7.1ch に自動的に拡張して出力します。

アナログ音声出力

接続端子	2ch 音声出力端子	7.1ch 音声出力端子
出力チャンネル	2ch	BD ビデオ：7.1ch ^{*10 *11} DVD ビデオ：5.1ch

*10 「BD ビデオ副音声・操作音」を「入」に設定した場合、Dolby Digital、DTS® Digital Surround™ または 5.1ch PCM で出力します。ただし、副音声や操作音を含まないディスクの再生時は、オリジナルの音声で出力します。

*11 DTS, Inc. の仕様により 5.1ch または 6.1ch から 7.1ch に自動的に拡張して出力します。

4K 出力のためのお勧めの設定と出力映像信号

本機を 4K 対応テレビに接続して、下記表の設定にすると、本機から 4K 映像を出力することが可能になります。

接続する テレビの種類	映像コンテンツ	本機のお勧め設定	本機から出力される映像信号	
		初期設定 ^{*1} 「4K/60p 出力」 (→ 31)	解像度	フレームレート カラースペース 最大ビット数
4K 60p 4:4:4 まで対応	Ultra HD ブルーレイ ^{*2}	60p	4K/60p (4:4:4) 4K	60p、4:2:2、12 bit ^{*3}
		24p		24p、4:4:4、12 bit ^{*3}
	録画番組（4K 放送） ^{*2}	60p		60p、4:2:2、 12 bit ^{*3 *4}
	BD ビデオ / 録画番組（ハイビジョン放送）	60i		60p、4:2:2、12 bit
	BD ビデオ	24p		24p、4:4:4、12 bit
	BD ビデオ (MGVC)	24p		
4K 60p 4:2:0 まで対応	Ultra HD ブルーレイ ^{*2}	60p	4K/60p (4:2:0) 4K	60p、4:2:0、8 bit ^{*5}
		24p		24p、4:2:2、12 bit ^{*3}
	録画番組（4K 放送） ^{*2}	60p		60p、4:2:0、8 bit ^{*5}
	BD ビデオ / 録画番組（ハイビジョン放送）	60i		60p、4:2:0、8 bit
	BD ビデオ	24p		24p、4:4:4、8 bit
	BD ビデオ (MGVC)	24p		24p、4:2:2、12 bit

*1 その他の初期設定値（お買い上げ時の設定）

- ・「出力解像度」(→ 31) : 「オート」
- ・「24p 出力」(→ 31) : 「オート」
- ・「カラースペース」(→ 32) : 「YCbCr (オート)」
- ・「HDR/色域出力」(→ 32) : 「HDR/BT.2020 (オート)」

*2 接続するテレビの HDMI 端子は、HDCP2.2 に対応している必要があります。

*3 接続するテレビが HDR 対応で、映像コンテンツが HDR 素材の場合は、HDR で出力可能です。

*4 接続するテレビが HDR 対応で、映像コンテンツが HDR 素材でも HDR で出力できないときは、「HLG/PQ 変換」(→ 32) を「オート」に設定すると、HDR で出力できる場合があります。

*5 接続するテレビが HDR 対応で、映像コンテンツが HDR 素材でも、HDR では出力できません。
(通常のダイナミックレンジに変換して出力します)

著作権など

サービス事業者が提供するテレビでネットのサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- ・著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- ・Dolby、ドルビー、Dolby Audio、Dolby Vision 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- ・DTS の特許については、<http://patents.dts.com> をご覧ください。
DTS, Inc.からの実施権に基づき製造されています。
- ・DTS、シンボルマーク、DTS とシンボルマークとの複合ロゴ、DTS-HD、DTS-HD ロゴは米国およびその他の国における DTS, Inc. の登録商標または商標です。
© DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
- ・パナソニックは日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にハイレゾロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。
- ・HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- ・Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・QR コードは、株式会社デンソーウエーブの登録商標です。
- ・日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のモバイルWnnを使用しています。
"Mobile Wnn" © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd.
1999-2002 All Rights Reserved
- ・「マスターフレード\MASTER GRADE」は（株）バンダイの登録商標です。
- ・“AVCHD”、“AVCHD 3D”、“AVCHD Progressive”、および “AVCHD 3D/Progressive” はパナソニックホールディングス株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ・“DVD Logo” は DVD フォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- ・本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
(i) 画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
(ii) 個人の活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。
詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegl.com>) をご参照ください。
- ・本製品は、VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかるお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
(i) 画像情報を VC-1 規格に準拠して（以下、VC-1 ビデオ）記録すること。
(ii) 個人の活動に従事する消費者によって記録された VC-1 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した VC-1 ビデオを再生すること。
詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegl.com>) をご参照ください。

- ・本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
 - ・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・Windows Media、Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
 - ・本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
 - ・Android および Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。
 - ・DSD はソニー株式会社の登録商標です。
 - ・FLAC のソフトウェアライセンス文は、下記操作で「ライセンス」をご参照ください。（→ 36）
- [ホーム] ⇔ 「設定」 ⇔ 「初期設定」 ⇔ 「システム設定」 ⇔ 「システム情報」
- ・Adobe は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・HDR10+™ logo は HDR10+ Technologies, LLC. の商標です。
 - ・Copyright 2004-2014 Verance Corporation. Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。
 - ・この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1)パナソニックエンターテインメント & コミュニケーション
株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
- (2)第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3)GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4)GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2. 1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5)GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記（3）～（5）に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して販売されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての暗示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品の初期設定画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読み取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口: oss_cd-request@gg.jp.panasonic.com
また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。
<https://panasonic.net/cns/oss/>

必要なとき

(1)MS/PlayReady/Final Product Labeling

This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

(2)MS/PlayReady/End User Notices

Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies. Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重致します。



保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

- まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな！？」 「こんな表示が出たら」 (→ 37 ~ 42) でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

● 製品名	ブルーレイディスクプレーヤー
● 品 番	DP-UB9000
● 故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間

8年

当社は、このブルーレイディスクプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙の DIGA (ディーガ) ・ オーディオ 使い方・お手入れなどのご相談窓口、修理に関するご相談窓口にご連絡ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

さくいん

英数字	ページ	
■ BD-Live	23	
■ LAN	17	
■ MP4 再生	6、43、44	
■ Netflix	25	
■ Ultra HD ブルーレイ	23	
■ USB 機器	7	
■ 24p	31	
■ 3D	23	
■ 4K	10、18、31、47	
あ 行	ページ	
■ お部屋ジャンプリンク	26	
■ 音声		
音声切換	21	
言語	34	
か 行	ページ	
■ クイックスタート	36	
■ 言語		
音声	28、34	
字幕	28、34	
メニュー	34	
■ 高音質ハイレゾオーディオ対応 (ALAC、DSD、FLAC、LPCM)	43	
さ 行	ページ	
■ 字幕	28、34	
■ 初期設定リセット	36	
■ ソフトウェアの更新	19	
た 行	ページ	
■ 続き再生メモリー	20	
■ テレビでネット	25	

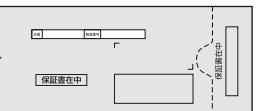
「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、登録商品のサポートも充実

詳しくはこちら <https://club.panasonic.jp/aiyo/>



- 保証書用封筒に記載されているQRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます



サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support>



DIGA（ディーガ）・オーディオ 使い方・お手入れなどのご相談窓口



0120-878-982 受付時間
9:00~18:00 月~土曜日
(祝日・正月三が日を除く)

- 上記電話番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187
- FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)



修理に関するご相談窓口



0120-878-554

- 上記電話番号がご利用いただけない場合 03-6633-6700



<https://panasonic.jp/support/repair.html>

掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。

(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)

ご使用の回線 (IP電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクプレーヤーの点検を!



こんな症状は
ありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体に変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、
電源を切り、コンセント
から電源プラグを抜いて、
必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2018-2022

TQBS0288-2

F1118HA2122